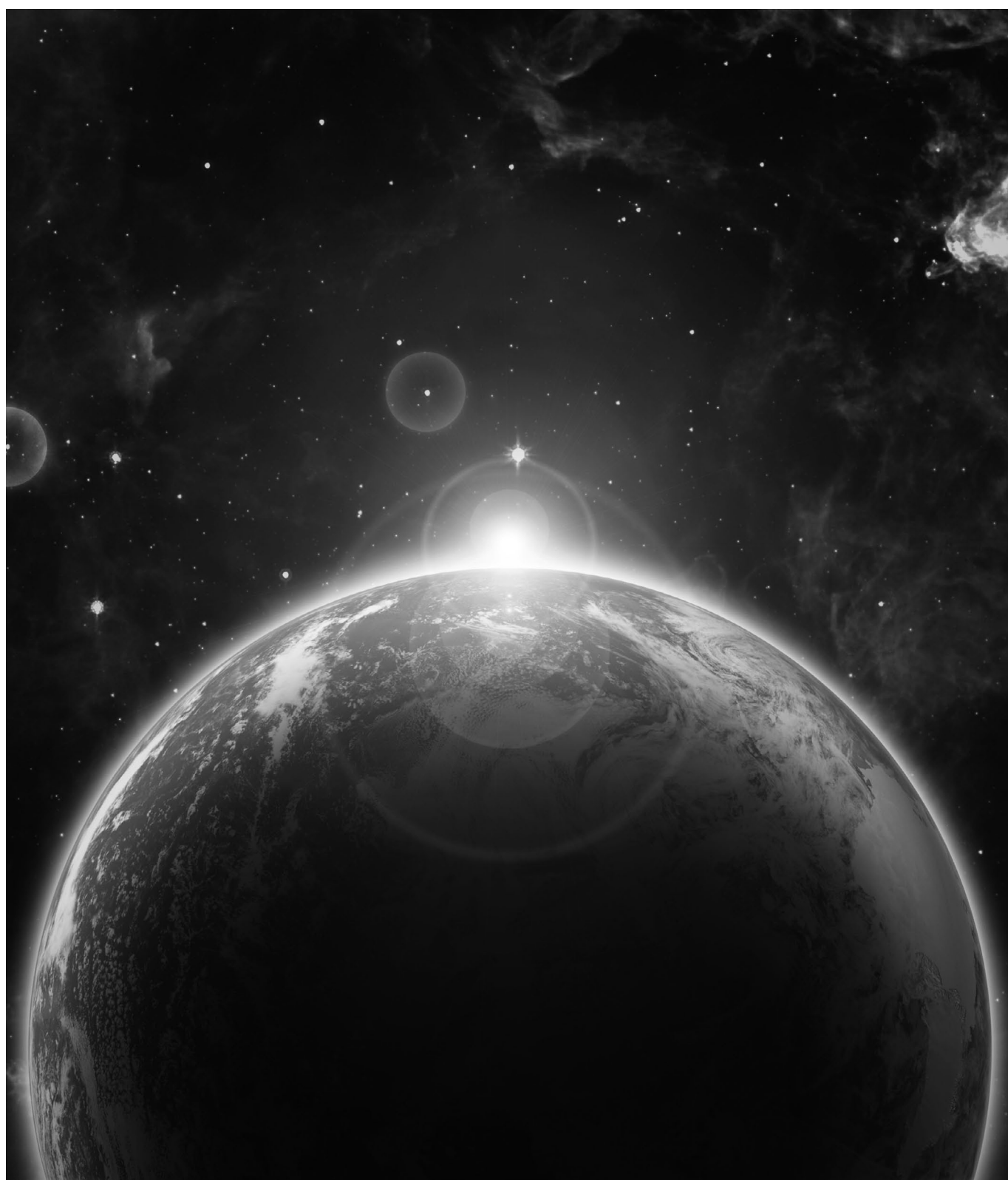
取扱説明書

Web 設定編

ビジネスコミュニケーションシステム

PLATIA

このたびは、「PLATIA」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

PLATIA では、用途と規模に応じて、以下の 3 つの機種を用意しております。

	PLATIA Standard (S タイプ)	PLATIA Professional (M タイプ)	PLATIA Ultimate (L タイプ)
総ポート 物理ポート数(論理ポート)	22(26)	46(82)	384(768)
適用回数	デジタル回線(INS ネット 64) アナログ回線 IP 電話回線 SIP 専用線	デジタル回線(INS ネット 64) アナログ回線 IP 電話回線 SIP 専用線	デジタル回線(INS ネット 64/1500) アナログ回線 IP 電話回線 SIP 専用線 OD 専用線
総外線 物理ポート数(論理ポート数)	4(16)	12(44)	192(192)
総内線 物理ポート数(論理ポート数)	18(26)	34(82)	288(768)

※本書では、PLATIA を「主装置」、また Standard、Professional、Ultimate をそれぞれ「S タイプ」、「M タイプ」、「L タイプ」と記載しています。
※総外線の論理ポート数は、IP 電話回線と SIP 専用線を含んだ外線の合計数です。
※総内線の論理ポート数は、IP 内線とデジタルコードレス電話機(UM)内線を含んだ内線の合計数です。

ご注意

- 本製品は、電話番号に代表される、個人情報の保存または保持可能な商品です。設置工事、保守、廃棄、譲渡および返却される際は、本製品内に保存または保持された個人情報を消去する必要があります。
- ご使用の際は、本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、日本国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故の元になりますので、絶対におやめください。
- 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
- 本書の内容、外観については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- Microsoft、Internet Explorer、および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

免責事項

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 電話サービスを利用することによる金銭上の損害、および逸失利益について第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

本書には、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の説明

表　示	説　明
⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※ 1）を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※ 1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※ 2）を負う可能性が想定される内容および物的損害（※ 3）のみの発生が想定される内容を示しています。

※ 1:　重傷とは失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※ 2:　傷害とは治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※ 3:　物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

表　示	説　明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は絶対に行わないでください。
強制	強制（必ずすること）を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は必ず実施してください。

⚠ 危険	
強制	**電池パックはプラス⊕・マイナス⊖の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、プラス⊕、マイナス⊖の向きを確かめてください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
禁止	**電池パックを単体では充電しないでください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
禁止	**電池パックは、指定の電話機以外には使用しないでください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
禁止 分解禁止	**電池パックを分解・改造しないでください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
強制	**電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。 ・火の中に投入したり、加熱しない ・直接はんだ付けしない ・プラス⊕・マイナス⊖を針金などの金属類で接触させない ・水・雨水・海水・薬品などにつけたり、ぬらさない ・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない ・針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない
強制	**電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください**
強制	**不要になったリチウムイオン電池を廃棄するときは、ショート防止のために、電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従うようにしてください** 電極がショートすると、破裂、発火の原因となります。

⚠ 警告	
禁止	**取付位置を変更しないでください** 火災・感電・けがの原因となります。 配線工事を行うには資格が必要です。販売店にご相談ください。
禁止 電源プラグを抜く	**主装置の通風孔や電話機の開口部などから、金属類を入れないでください** 火災・感電・故障の原因となります。万一、金属類が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
禁止 ぬれ手禁止	**主装置をぬれた手で操作したり、ぬれた布でふかないでください** 感電の原因となります。
禁止 電源プラグを抜く	**万一、内部に水などが入った場合、そのまま使用しないでください** すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
禁止 電源プラグを抜く	**主装置、電話機の上や近くに液体の入った容器(花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・小さな金属など)を置かないでください** 液体がこぼれて内部に入ると、火災・感電・故障の原因となります。万一、液体が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
禁止 接触禁止	**雷が鳴り出したら、主装置・電源コードなどに触れないでください** 感電の原因となります。
禁止 電源プラグを抜く	**万一、煙が出ている、異常音がする、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用しないでください** すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。
禁止	**一般のゴミとして放置しないでください** 火災・けがの原因となります。 廃棄するときは、販売店にご相談ください。
禁止	**AC100V ± 10V の商用電源以外は、絶対に使用しないでください** 火災・感電・故障の原因となります。
禁止	**内線・外線の各端子をショートさせないでください** 火災・故障の原因となります。
強制	**電源プラグを電源コンセントへ直接接続してください** 延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。

⚠ 警告	
禁止	**テーブルタップや分岐コンセント・分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください** 火災・過熱の原因となります。
禁止 電源プラグを抜く	**主装置、電話機を傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに置かないでください** 落下・転倒により、けがの原因となります。万一、落下・転倒により破損したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください 。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
禁止 ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください** 感電・けがの原因となります。
禁止 火気禁止	**主装置、電話機に火の気を近づけたり、加熱しないでください** 鉛蓄電池(バッテリー)が液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。
禁止 電源プラグを抜く	**電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください** コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合は(芯線の露出、断線など)主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。
禁止	**工事者以外は、装置の蓋などを開けないでください** 感電、故障の原因となります。
強制	**電源プラグは電源コンセントの奥までしっかり差し込んでください** 電源プラグの刃に、金属などが触れると火災・感電・故障の原因となります。
強制	**電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着している場合は、よくふいてください** 火災の原因となります。
強制 電源プラグを抜く	**主装置に鉛蓄電池(バッテリー)を使用する場合、寿命は(使用頻度にもよりますが)設置後2～3年(長寿命バッテリーの場合は6年)です。交換時期になりましたら、販売店にまとめて交換をご依頼ください** 寿命が過ぎた鉛蓄電池(バッテリー)を使用し続けるとバッテリー内部の液もれの原因となります。万一、バッテリー内部からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれることがあります。また、バッテリー内部の液もれが発生したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
禁止	**機器で指定されていないバッテリーは使用しないでください。また、新しいバッテリーと古いバッテリーと混ぜての使用はしないでください** 電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
禁止 分解禁止	**分解・改造・修理しないでください** 火災・感電・故障の原因となります。 電話機の改造は法令違反になります。故障のときは、販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 警告

強制 電源プラグを抜く	**万一異物が、本装置および電話機の内部に入った場合は、まず本装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください** そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。
強制	**主装置の内部の点検・修理は、販売店に依頼してください**
禁止	**歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください** 転倒・交通事故などの原因となります。
禁止	**電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください** 火災・故障の原因となります。
禁止	**引火性ガスが発生する場所では、電話機を絶対に充電しないでください** 火災の原因となります。
禁止 電源プラグを抜く	**万一、充電器が落下したり、破損した場合は、そのまま使用しないでください** 必ず AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
禁止	**本装置を医療用電気機器(ペースメーカーなど)の近くで使用しないでください** 電波により医療用電気機器に影響を与えることがあります。
禁止	**高精度な制御や、微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください** 電子機器が誤動作するなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。 (ご注意いただきたい電子機器の例:補聴器・医療用電子機器・ペースメーカー・火災報知機・自動ドア・自動制御機器など)
禁止	**充電器の開口部から金属類を入れないでください** 万一、内部に異物が入った場合は、すぐに AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
禁止	**充電端子を金属でショートさせないでください** 火災・故障の原因となります。
禁止	**充電端子に水滴のついたまま充電しないでください** 火災・故障の原因となります。
強制	**電池パックが液もれしたり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください**
強制	**所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、すぐに充電をやめて、お買い求めの販売店にご連絡ください**
禁止 ぬれ手禁止	**ぬれた手で電池パックを交換したり、ぬれた手で充電器の AC アダプタを抜き差ししないでください** 感電の原因となります。
禁止	**付属の AC アダプタ、充電器以外を使用しないでください** 火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
強制	**AC アダプタ、充電器は取扱説明書に指定の電源コンセントに接続してください** それ以外の電源コンセントに接続すると火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 警告

❗	強制	**電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください**
⊘	禁止	**LAN ポートや PC ポートに接続したネットワークケーブルを電源コンセント、アナログ電話回線、デジタル電話回線(ISDN)、PBX デジタル電話回線には接続しないでください** 火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

❗	強制	**必ずアースを接続してください** アース接続をしないで使用すると感電・故障の原因となることがあります。
❗	強制	**主装置や電話機を壁掛けに変更するときは、販売店にご相談ください** 配線工事を行うには資格が必要です。また、主装置や電話機の重みに耐える専用壁掛け金具を使用して適正な取り付けが必要です。
⊘	禁止	**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください** 電源コードが破損し、火災·感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。
⊘	禁止	**振動・衝撃の多い場所に置かないでください** 火災・感電・故障の原因となります。また落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
⊘	禁止	**主装置や電話機を上下逆さまの状態で設置しないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
⊘	禁止	**主装置、電話機の上に乗ったり、座ったりしないでください** けがや故障の原因となることがあります。
⊘	禁止	**直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください** 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
⊘	禁止	**湿気やほこりの多い場所、潮風、腐食性ガスのかかる場所、化学反応を起こすような場所(化学実験室など)には置かないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
⊘	禁止	**風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
⊘	禁止	**調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、ほこりが多い場所に置かないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
⊘	禁止	**電源コードおよび電話機コードを熱器具に近づけないでください** コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
⊘	禁止	**落下させるほどの強い衝撃を与えないでください**
❗	強制	**移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、回線コードや電話機コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
⊘	禁止	**主装置や電話機の開口部をふさがないでください** 開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意	
禁止	**電気雑音を発生するものに近い場所に置かないでください** 通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。 ＜電気雑音の原因としては＞ ・車やオートバイが近くを通る場合 ・放送局や無線局（アマチュア無線、CB 無線など）の近くで使用する場合 ・テレビ・ラジオ・蛍光灯・OA 機器・電子レンジ・電気コタツなどの近くで使用する場合 ・高周波溶接機・高周波ミシン・電気溶接機・ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合
禁止	**強い磁界の発生源の近くに設置しないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
禁止	**火のそばや炎天下などの高温の場所で、充電はしないでください** 高温になると危険を防止する保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。
強制	**電池パックは、事故防止のため、小さいお子様の手の届かないところに保管してください** 誤飲、感電の原因となります。
強制	**長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください** 発火・故障の原因となります。 主装置については、常時電源を「ON」の状態にしておいても問題ありません。
強制	**AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず AC アダプタまたは電源プラグを持って抜いてください** 電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。
禁止	**コードレス電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください** 故障の原因となります。
注意	**電話機等の底面には、ゴム製のスベリ止めを使用しています。ゴムとの接触面がまれに変色することがあります**
注意	**コードレス電話機のアンテナを誤って目にささないようにしてください**
注意	**アンテナなどの突起物を目や口などに入れないようにしてください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください**
強制	**充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください** 感電の原因となることがあります。
禁止	**充電器の上に指輪、ネックレスなどの金属類を置かないでください** 金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。
強制	**充電は周囲温度 5℃～ 35℃の範囲で行ってください** 正常な充電ができなかったり、故障の原因となります。
強制	**お手入れの際は安全のために、本装置の電源スイッチを切ってから電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください**

⚠ 注意	
強制	**水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください** 本装置および電話機の内部に水滴が入ると、火災・故障の原因となることがあります。
禁止	**表面が熱に弱い家具の上などの表面が熱に弱い場所には、本装置および電話機を置かないでください** 家具等の表面が変色・変形する場合があります。
禁止	**本装置および電話機の上に手をついたり、ものを載せないでください** 火災や故障の原因となります。
禁止	**ぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールおよびシリコン系クリーナなどでふかないでください** 本装置の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。
禁止	**受話器用カールコードやモジュラープラグで差し込まれている電話機コードを強く引っ張らないでください** 故障の原因となることがあります。

IP 回線の特性について

●下記のような場合には、IP 電話サービスの通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
- WAN（ブロードバンド）回線の接続状態によって十分な帯域がとれない場合
- インターネットで十分な帯域がとれない場合
- 主装置に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

●相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。
- ADSL 回線をご利用の場合は、下りの伝送速度よりも上りの伝送速度のほうが低いため、通話中にインターネット上のサーバへ大きなファイルを送信したり、他拠点との間でファイルを転送することは避けてください。また、LAN 内に、インターネットにアクセスできる Web サーバ、FTP サーバなどを設置しないでください。

SIP 電話機および IP 多機能電話機の特性について

●下記のような場合には、電話機の通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
- LAN の接続状態によって、十分な帯域がとれない場合
- LAN に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

●相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。

取扱上のお願い / 主装置、電話機、他

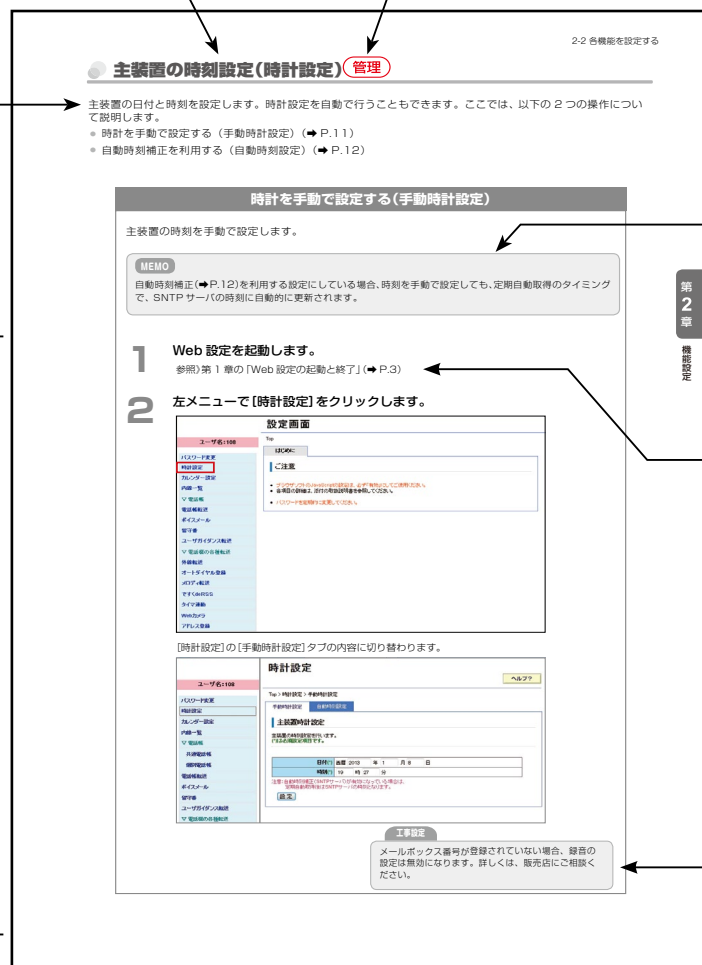
取扱上のお願い / 主装置、電話機、他
停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって通信などの機会を逸したために生じた遺失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください
本装置を人命や、危害に直接的または、間接的に高い安全性が必要とされる環境下では使用しないでください
本装置に登録された内容は故障・修理のときに消失する場合があります
テレビ、ラジオ、無線機、電子レンジ、インバータ形蛍光灯などの磁気、電波を発生する場所や違法無線を受ける場所に設置した場合、ノイズや誤動作を引き起こすことがあります
放送局の近くや違法 CB 無線など、強い電波を受ける場所では通話中に雑音が入ることがあります。通話に支障をきたす場合には、販売店にご相談ください
別売品の停電用電源を接続している場合は、電源スイッチが「ON」のままで、電源プラグを抜いたり、配電盤などの電源を切らないでください バッテリーが放電してしまい、停電時に動作しなくなります。また、バッテリーの寿命を縮める原因となります。
コードレス電話機を設置するときは、親機から約 3m 以上離してください 親機にあまり近い場合は、コードレス電話機が正常に動作しないことがあります。
デジタルコードレス電話機（DC）の側面に取り付けられたゴムキャップを取り外さないでください ゴムキャップがないまま、ぬれた手で使用すると、故障や感電の原因となります。
コードレス電話機は、防水対応ではありません
寒い戸外から急に暖かい室内にコードレス電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、コードレス電話機内部に水滴（結露）がつくことがあります。結露が生じたときは電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください 結露したままで使用すると、故障の原因となります。
コードレス電話機の通話は盗聴されにくくなっていますが、電波を利用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があります。この点を十分に留意して使用してください

目次

※「お問い合わせ窓口のご案内」は、最終ページをご覧ください。

お使いになる前に

取扱説明書の見かた

この取扱説明書は次のフォーマットをベースに記載してあります。

本書の構成

本書では、Web ブラウザベースのツール「Web 設定」を利用して設定できる内線の機能や、登録できる情報について、概要と操作方法をメインに説明します。
機能の詳細情報については、『取扱説明書(多機能電話機編)』を合わせて参照してください。

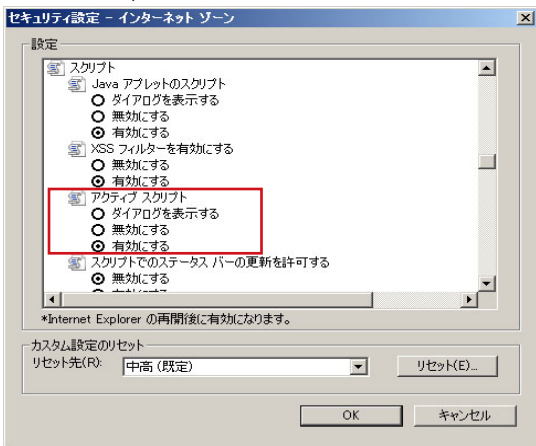
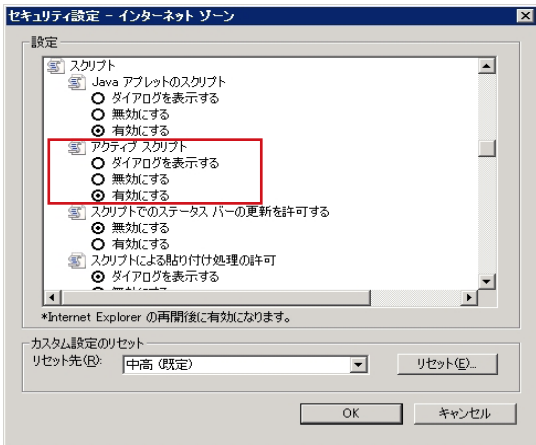
お使いになる前に（本章）

本書の見かたと構成についてまとめてあります。

第 1 章　基本機能編

「Web 設定」の起動と終了、操作画面の見かた、ヘルプの参照方法など、基本的な操作について説明しています。

第 2 章　機能設定編

「Web 設定」を利用して設定できる機能の概要と説明、各機能の設定方法について説明しています。

第 1 章 基本操作

1-1 Web 設定の利用

「Web 設定」は、LAN 接続された PC から Web ブラウザを介して、本システムの主装置にログインすることで利用できます。「Web 設定」を利用すると、各内線の機能設定を変更したり、電話帳など各種情報を登録・編集したりすることができます。

動作環境について

「Web 設定」を利用する前に、以下の動作環境をご確認ください。

OS	Windows XP、Windows 7
ブラウザ	Internet Explorer 7、Internet Explorer 8、Internet Explorer 9、Google Chrome
Java スクリプト	Java スクリプトを有効にしてください。無効のままアクセスすると、有効にするよう促すメッセージが表示されます。この場合は、[ツール]→[インターネットオプション]→[セキュリティ]→[インターネット]アイコン→[レベルのカスタマイズ]→[スクリプト]－[アクティブスクリプト]で[有効にする]を選択し、Java スクリプトを有効にして再度アクセスしてください。 Internet Explorer 8 の場合 Internet Explorer7 の場合

MEMO

本書では、Internet Explorer 8 を使用した操作について説明しています。

ユーザ種別について

「Web 設定」で設定、登録できる機能は、ログインする際のユーザ種別によって異なります。
本書では、ユーザ種別を以下のように定義・表現しています。

管理ユーザ	システム管理電話機に指定された内線番号でログインするユーザ
一般ユーザ	システム管理電話機以外の内線番号でログインするユーザ

設定データの反映について

ログアウトしないと反映されないデータがありますので、データ設定後の動作確認をする前に、必ず「Web 設定」からログアウトしてください。
また、内線および回線が空き状態になるまで反映されないデータがありますので、ご注意ください。

使用中（通話中やメニュー操作中など）の内線電話機に対して以下の設定を行った場合、対象の内線電話機がいったん待受状態にならないと設定が反映されません。
対象の内線電話機で受話器を上げている場合は受話器を置いて、一度、待受状態に戻してから、ご使用ください。スピーカランプが点灯している場合は、スピーカボタンを押して、一度、待受状態に戻してからご使用ください。

- 内線名称の登録（➡ P.23）
- オートダイヤルボタンへの機能の割り付け（➡ P.110）

Web 設定の起動と終了

ここでは、Web 設定の起動(ログイン)から終了までの基本操作について説明します。

Web 設定を起動する(ログイン)

Web 設定を起動し、本システムの主装置にログインします。
Web 設定では、ログインする際のユーザ種別によって、利用できる機能が異なります。
管理ユーザとしてログインした場合は、すべての機能が利用でき、システムや全内線に対して、設定の変更を行うことができます。一般ユーザとしてログインした場合は、ご自分の内線の設定を変更する機能のみ利用できます。

- ご自分のユーザ種別を確認するには、本章の「ユーザ種別について」（➡ P.2）を、利用できる機能を確認するには、「2-1 Web 設定でできること」（➡ P.7）をそれぞれ参照してください。

1 ブラウザを起動します。

参照》「動作環境について」(➡ P.1)

2 ブラウザのアドレスバーに、主装置本体の LAN 側 IP アドレスを入力し、[Enter] で確定します。

ログイン画面が表示されます。

3 ログイン情報を入力し、[ログイン] をクリックします。

項目	内容
ユーザー名	ご自分の内線番号を入力します。 ● ここで入力する内線番号の種類によってユーザ種別が変わります(➡ P.2)。
パスワード	パスワードを半角で入力します ● 1 ～ 8 桁までの半角英数字を入力できます。 ● 初期設定では、すべての内線に「0000」が設定されています。 **MEMO** ● 一般ユーザとしてログインする場合は、あらかじめ管理ユーザにパスワードを確認してください。 ● ログイン時のパスワードは定期的に変更してください。一般ユーザの場合はご自分のパスワードを、管理ユーザの場合は全内線のパスワードを変更できます(➡ P.8)。

Web 設定が起動し、メイン画面が表示されます。

ログイン時のユーザ種別によって、表示される内容が異なります。

<管理ユーザの場合>

<一般ユーザの場合>

Web 設定画面の各部の名称

Web 設定画面の各部の名称は以下のとおりです。各部の名称は、ユーザ種別にかかわらず共通です。
※管理ユーザとしてログインした場合の共通電話帳の設定画面を例に説明します。

ユーザ名

ログイン時に入力した内線番号が表示されます。

画面タイトル

左メニューで選択した機能名が表示されます。

[ヘルプ] ボタン

すべての設定画面に表示されます（➡ P.6）。

左メニュー

設定する機能をクリックして選択します。
▽が表示された機能（電話帳・電話機の各種転送）には、付加機能が格納されています。クリックするたびに付加機能の表示 / 非表示が切り替わります。

設定領域

左メニューで選択した機能の設定項目が表示されます。
タブが存在する場合、クリックしたタブの設定項目が表示されます。

タブ

左メニューで選択した機能に付加設定がある場合に表示されます。

ヘルプ情報を参照する

Web 設定の各画面右上には［ヘルプ］ボタンが用意されています。［ヘルプ］ボタンをクリックすることで、Web 設定で使用されている各用語の解説を確認できます。

1 **画面右上の［ヘルプ］ボタンをクリックします。**

ブラウザまたはブラウザの別タブが起動し、用語集が表示されます。

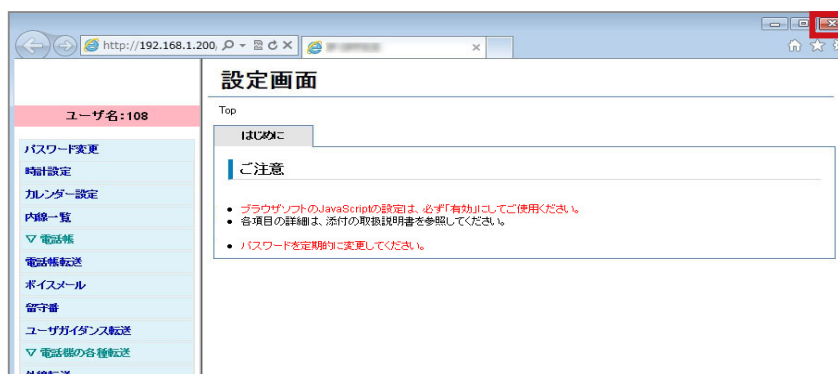
ヘルプ

用語集

【英数字】	
ACR	ダイヤルされた内容によって、最適なキャリア（通信網を提供している会社）を選択して発信できる機能です。
DGLまたはDGLグループ	着信の一つの形式で、内線を例えば組織毎にグループ化し、発信者はそのグループを指定して発信することで、グループ内の内線全てを呼び出せる機能です。 着信は一つのDGLボタンに先着順でキューイングされる。
DGL着信呼数制限	同じDGLまたはDGLグループに着信できる数を制限できる機能です。
MSAまたはMSAグループ	DGLが一つのDGLキーに着信がキューイングされるのと違って、MSAグループの着信ひとつひとつを電話機のボタン（MSAボタン）に着信させる機能です。
MSA呼数	MSAボタンに着信できる最大数のことです。
PBX外線（PBX回線）	PBXの内線をボタン電話の外線に接続して、ボタン電話からPBXの内線発信ができる回線のことをいいます。
PHS	RCR28標準に準拠したデジタルコードレス電話機です。
RSS	RDF Site Summaryの略称です。 ニュース配信サイトなどで最新ニュースを、放送局では番組情報を、その他各種企業においてプレスリリースや新製品情報、サポート情報を、RSSを使ったヘッドライン情報として配信するプロトコルのことをいいます。
SNTP	Simple Network Time Protocolの略称です。時刻情報を取得するプロトコルのことをいいます。 インターネット上のSNTPサーバーで時刻を管理し、クライアントがそのサーバーに時刻を要求することで、時刻情報を取得することができます。
SIP端末	SIPプロトコルに準拠した、VoIP電話機です。
W機能セット	特番またはボタン操作で指定された2つのモードを同時に設定/解除ができる機能です。
【あ行】	
一般着信	複数の電話機に同時に着信する着信方法の総称です。外線着信（一般系）、DGL/MSA着信、ドアホン着信などが該当します。
いらっしゃいませンサ	いらっしゃいませンサモードにすると、人感センサで来客を検知すると、電話機のLCDに「いらっしょいませ」表示や、外部機器からのガイダンス送出ができる機能です。

Web 設定を終了する

ブラウザを閉じて、Web 設定を終了します。

1 **ブラウザまたはブラウザタブの［×］（閉じる）ボタンをクリックします。**

ブラウザが閉じ、Web 設定が終了します。

第 2 章 機能設定

本章では、Web 設定で設定できる機能を紹介し、それぞれの設定手順について説明します。

2-1 Web 設定でできること

Web 設定で利用できる機能は、ログイン時のユーザ種別によって異なります。
設定を行う前に、ご自分が利用できる機能をご確認ください。

機能名	概要	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
パスワード変更	Web 設定にログインするときのパスワードを設定できます。	○	○	P.8
時計設定	主装置の日付と時刻を設定できます。	○	−	P.11
カレンダー設定	会社の営業形態に合わせ、特定の日にちや曜日を休日や祝祭日としてカレンダーに登録できます。	○	−	P.14
内線一覧	内線一覧やドアホン一覧で登録情報を確認したり、名称を登録したりすることができます。	○	△（ドアホン名称設定不可）	P.22
共通電話帳	電話帳（共通電話帳と個別電話帳）の登録・確認を行うことができます。	○	△（参照のみ）	P.28
個別電話帳			○	
電話帳転送	本システムに登録されている共通電話帳と個別電話帳のデータを PC（パソコン）の任意のフォルダに保存し、バックアップデータを作成できます。	○	−	P.46
ボイスメール	ボイスメール（録音メッセージ）の登録や確認を行うことができます。	○	△（外部保存設定不可）	P.49
留守番	留守番設定時の動作を設定できます。	○	−	P.55
ユーザガイダンス転送	ユーザガイダンスの登録や確認を行うことができます。	○	−	P.64
電話機の各種転送	電話機の転送モードごとに動作を設定できます。	○	○	P.68
外線転送	外線自動転送の動作を設定できます。	○	−	P.104
オートダイヤル登録	オートダイヤルに機能を割り付けることができます。	○	○	P.110
メロディ転送	電話機の着信音など、メロディデータを PC にバックアップしたり、PC からメロディデータを取り込んだりすることができます。	○	−	P.113
ですく de RSS	コンテンツ表示機能の利用設定や動作設定を行うことができます。	○	○	P.117
タイマ連動	セーフティモードの起動およびチャイムの鳴動タイミングを設定できます。	○	○	P.119
Web カメラ	セーフティモードで連動させて利用できる Web カメラの情報や連動設定を行うことができます。	○	−	P.123
アドレス登録	セーフティモードや外線自動転送モード時に送信できるメールの相手先や動作について設定できます。	○	−	P.126

○：操作可能　△：管理ユーザのみの機能あり　−：操作不可

■対象ユーザの識別方法について

本書では、操作可能 / 不可がひと目でわかるよう、機能ごとに対象のユーザアイコンを掲載しています。

ユーザアイコン	内容
管理	管理ユーザが設定できる機能です。
一般	一般ユーザが設定できる機能です。

第 2 章 機能設定

2-2 各機能を設定する

Web 設定を使って PC(パソコン)から設定できる機能の概要と操作手順について、管理ユーザでログインした場合に表示される左メニューの順番に沿って説明します。

ログインパスワードの変更(パスワード変更) 管理

Web 設定へのログインパスワードを変更します。
ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
特定の内線のパスワードを変更する	○	○	P.8
すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態に戻す	○	–	P.10

○:操作可能　　－:操作不可

特定の内線のパスワードを変更する

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(➡ P.3)

2 左メニューで[パスワード変更]をクリックします。

[パスワード変更]の設定項目に切り替わります。

3 以下の項目を設定します。

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
ユーザー名 *	パスワードを設定する内線番号を半角で入力します。 すでにパスワードが登録されている内線番号を選択すると、パスワードが変更されます。
パスワード	設定するパスワードを半角で入力します。 ● 1 ～ 8 桁までの半角英数字を入力できます。 ● 初期設定では、すべての内線に「0000」が設定されています。 ● 何も入力しないとパスワードなしでログインできるようになります。
パスワード確認	[パスワード]に入力したパスワードと同じものを確認用に入力します。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

5 他の内線のパスワードを設定する場合は、手順 3 ～ 4 の操作を繰り返します。

6 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

指定した内線のパスワードが設定されます。以降、この内線から Web 設定にログインするときは、ここで設定したパスワードの入力が必要になります。

すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態に戻す 管理

すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態「0000」に戻します。

1 **[ログインパスワード変更]画面を表示して(➡ P.8)、[ユーザー名]の[全ユーザー指定(初期化時のみ有効)]をチェックし、[初期化]をクリックします。**

メッセージダイアログが表示されます。

2 **表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。**

すべての内線のパスワードがお買い上げ時の状態「0000」に戻ります。

主装置の時刻設定（時計設定）管理

主装置の日付と時刻を設定します。時計設定を自動で行うこともできます。ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

- 時計を手動で設定する（手動時計設定）（➡ P.11）
- 自動時刻補正を利用する（自動時刻設定）（➡ P.12）

時計を手動で設定する（手動時計設定）

主装置の時刻を手動で設定します。

MEMO

自動時刻補正（➡P.12）を利用する設定にしている場合、時刻を手動で設定しても、定期自動取得のタイミングで、SNTP サーバの時刻に自動的に更新されます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［時計設定］をクリックします。

［時計設定］の［手動時計設定］タブの内容に切り替わります。

時計設定
ヘルプ？
ユーザ名:108
Top > 時計設定 > 手動時計設定
手動時計設定 自動時刻設定
主装置時計設定
主装置の時刻設定を行います。
(*)は必須設定項目です。
日付(*) 西暦 2013 年 1 月 8 日
時刻(*) 19 時 27 分
注意：自動時刻補正（SNTPサーバ）が有効になっている場合は、定期自動取得後はSNTPサーバの時刻となります。
設定
パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽ 電話帳
共通電話帳
個別電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイダンス転送
▽ 電話機の各種転送

3 以下の項目を設定します。

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
日付 *	西暦で日付を入力します。
時刻 *	時、分を入力します（24 時間制で入力してください）。

4 ［設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

主装置の時刻が設定されます。

自動時刻補正を利用する（自動時刻設定）

インターネット環境で利用している場合、自動時刻補正機能を利用して、主装置の時刻を SNTP サーバの時刻に定期的に合わせることができます。自動時刻補正は、お買い上げ時の状態で利用する設定になっています。自動時刻補正を行わないように設定することもできます。

1 ［時計設定］画面を表示して（➡ P.11）、［自動時刻設定］タブをクリックします。

［時計設定］の［自動時刻設定］タブの内容に切り替わります。

2 ［自動時刻補正利用］で、時刻補正を行うかどうかを設定します。

［利用する］を選択すると、インターネット上の SNTP サーバに定期的にアクセスし、主装置の時刻補正を行い、電話機のディスプレイに表示される時刻が自動的に補正されます（初期設定）。

［利用しない］を選択すると、自動時刻補正は行われず、主装置に手動で設定された時刻が電話機のディスプレイに表示されます。

3 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

自動時刻補正の利用の有無が設定されます。

休日や祝祭日の登録（カレンダー設定） 管理

会社の営業形態に合わせ、特定の日にちや曜日を休日としてカレンダーに登録できます。さらに、創立記念日やなど、特定日を祝祭日として登録することもできます。祝祭日の設定も、毎年固定の日付にするか、第一月曜日など、変動する形式にするかを選ぶことができます。設定した休日、祝祭日の設定は、必要に応じていつでも解除できます。

休日を登録する（特定日設定）

休日を登録します。休日は、年間で最大 64 日まで登録できます。
休日の設定は、以下の 2 通りの方法で設定できます。

■ 日付ごとに登録する（固定日設定）（➡ P.14）
■ 曜日ごとに登録する（曜日指定）（➡ P.16）

第2章 機能設定

■ 日付ごとに登録する（固定日設定）

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［カレンダー設定］をクリックします。

［カレンダー設定］の［特定日設定］タブの内容に切り替わります。

3 プルダウンメニューから目的の月を選択し、休日に設定する日付をクリックします。

特定日設定　祝祭日設定

特定日設定

特定日(固定日/曜日指定)を設定することにより任意の日/曜日を休日/平日として動作させます。

曜日指定

前の月　2 月　次の月

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日						

[特定日設定(固定)]の設定内容に切り替わります。

4 [日付]に選択した月と日にちが表示されていることを確認し、[平日 / 休日]で[休日]を選択します。

[平日]を選択すると、休日の設定が解除されます。

5 設定する場合は、[指定]をクリックします。

● 特定日の設定を取り消す場合は、[解除]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

6 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

選択した日付が休日に設定され、[特定日設定]表示に戻ります。
休日に設定した日付は、カレンダー上に表示されます。

■ 曜日ごとに登録する（曜日指定）

1 **[カレンダー設定] 画面を表示して（➡ P.14）、[曜日指定] をクリックします。**

[特定日設定（曜日指定）] の設定内容に切り替わります。

2 **目的の曜日のプルダウンメニューから [休日] を選択します。**

[平日] を選択すると、休日の設定が解除されます。
複数の曜日を休日に設定することもできます。

3 **[設定] をクリックします。**

メッセージダイアログが表示されます。

4 **表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。**

選択した曜日が休日に設定され、[特定日設定] 表示に戻ります。

MEMO

休日に設定した曜日を確認するには、[曜日指定] をクリックし、[特定日設定（曜日指定）] 表示に切り替えます。

祝祭日を登録する（祝祭日設定）

祝祭日を登録します。祝祭日は、年間で最大 32 日（00 ～ 31）まで登録できます。

祝祭日の登録は、以下の 2 通りの方法で設定できます。

■ 日付ごとに登録する（固定日設定）（➡ P.17）
■ 曜日ごとに登録する（変動日設定）（➡ P.19）

■ 日付ごとに登録する（固定日設定）

指定した日付を祝祭日として登録できます。お買い上げ時の設定では、以下の日付が祝祭日としてあらかじめ登録されています。

登録番号	日付	祝祭日
00	1 月 1 日	元日
01	2 月 11 日	建国記念日
02	3 月 21 日	春分の日
03	4 月 29 日	昭和の日
04	5 月 3 日	憲法記念日
05	5 月 4 日	みどりの日
06	5 月 5 日	こどもの日
07	9 月 23 日	秋分の日
08	11 月 3 日	文化の日
09	11 月 23 日	勤労感謝の日
10	12 月 23 日	天皇誕生日

1 ［カレンダー設定］画面を表示して（➡ P.14）、［祝祭日設定］タブをクリックします。

［祝祭日設定］タブの内容に切り替わります。

第2章 機能設定

2 プルダウンメニューから目的の月を選択し、休日に設定する日付をクリックします。

特定日設定　祝祭日設定

祝祭日設定

祝祭日（固定日/変動日）およびユーザ独自の休日の登録を行います。

変動日設定

前の月　2 月　次の月

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日						

［祝祭日設定（固定日）］の設定内容に切り替わります。

3 ［日付］に選択した日付が表示されていることを確認し、［指定］をクリックします。

祝祭日の設定を取り消す場合は、［解除］をクリックします。

特定日設定　祝祭日設定

祝祭日設定（固定日）

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

日付(*)　2　月　1　日

指定　解除

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

選択した日付が祝祭日に設定され、［祝祭日設定］表示に戻ります。
祝祭日に設定した日付は、カレンダー上にピンク色で表示されます。

第2章　機能設定

■ 曜日ごとに登録する（変動日設定）

ハッピーマンデーなど、1 月第 2 週の月曜日のように、毎年変動する日を祝祭日として登録できます。
以下の変動日が祝祭日としてあらかじめ登録されています。

登録番号	変動日
00	1 月第 2 月曜日
01	10 月第 2 月曜日
02	7 月第 3 月曜日
03	9 月第 3 月曜日

1 [カレンダー設定]画面を表示して(➡P.14)、[祝祭日設定]タブをクリックします。

[祝祭日設定]タブの内容に切り替わります。

2 [変動日設定]をクリックします。

[祝祭日設定(変動日)]の設定内容に切り替わります。

3 [変動日]のプルダウンメニューから、月、週数、曜日をそれぞれ選択します。

例：1 月の第 1 週の月曜日

MEMO

すでに祝祭日登録されている変動日は登録できません。登録する場合は、あらかじめ祝祭日の登録を解除してください（➡ P.21）。

4 [設定]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

選択した変動日が祝祭日に設定され、[祝祭日設定]表示に戻ります。

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				

MEMO

祝祭日に設定した曜日を確認するには、[変動日設定]をクリックし、[祝祭日設定（変動日）]表示に切り替えます。

■ 変動日の設定を解除する

あらかじめ登録されている変動日や独自に登録した変動日をまとめて解除できます。

1 [祝祭日設定（変動日）] 画面を表示して（➡ P.19）、登録を解除する変動日をチェックします。

2 [削除] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

3 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

選択した変動日の登録が解除され、[祝祭日設定] 表示に戻ります。

特定日設定　祝祭日設定

祝祭日設定

祝祭日(固定日/変動日)およびユーザ独自の休日の登録を行います。

変動日設定

前の月　1 月　次の月

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				

第2章 機能設定

内線番号とドアホン名の設定（内線一覧）

内線一覧やドアホン一覧を表示して、登録されている番号や名称を確認したり、新たに名称を登録したりすることができます。登録した名称は、必要に応じていつでも編集・削除することができます。
内線番号とドアホン名の設定は、ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
内線一覧を確認する	○	○	P.22
内線の名称を登録する	○	○	P.23
ドアホン一覧を確認する	○	○	P.25
ドアホンの名称を登録する	○	－	P.26

○：操作可能　－：操作不可

内線一覧を確認する　管理　一般

内線一覧を表示して、内線番号や名称を確認できます。内線一覧は、500番台ごとにプルダウンできるので、目的の番号を素早く見つけることができます。すでに名称が登録されている場合は、一覧の表示をカナ順に並べ替えることもできます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで [内線一覧] をクリックします。

[内線一覧] の [内線] タブに内線一覧が表示されます。

3 ［並び替え］のプルダウンメニューで目的の内線番号のグループを選択します。

- ［次へ］をクリックすると、次の 100 件が表示されます。
- ［前へ］をクリックすると、前ページ方向にスクロールされます。
- 内線のカナ名称が登録されている場合、［カナ順］をクリックすると、内線一覧がカナ名称順に並び替わります。

内線の名称を登録する 管理 一般

内線に名称を登録することができます。内線に名称を登録すると、待機中や発着信時に電話機のディスプレイにご自分や相手の内線名称が表示されます。内線名称には、漢字名称とカナ名称を登録できます。漢字名称には全角 10 文字まで、カナ名称には半角 20 文字まで登録できます。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線名称のみ登録できます。
- 管理ユーザの場合はすべての内線名称を登録できます。

1 ［内線一覧］画面の［内線］タブで（➡ P.22）、名称を登録する内線番号をクリックします。

すでに名称が登録されている内線番号を選択すると、名称の編集・削除を行うことができます。

2 以下の項目を設定します。

漢字名称とカナ名称の両方、またはどちらかを登録します。

項目	内容
漢字名称	選択した内線の漢字名称を入力します。[漢字名称] には、全角文字（漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号）で最大 10 文字まで、半角文字（カナ、英字、数字）で最大 20 文字まで入力できます。 ● 内線の漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● すでに漢字名称が登録された内線を選択した場合、ここで名称を変更できます。 ● 選択した内線からの着信時、ここで登録した漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。
カナ名称	選択した内線のカナ名称を入力します。[カナ名称] は半角文字（カナ、英字、数字）で最大 20 文字まで入力できます。 ● カナ名称を登録すると、内線一覧をカナ名称順に並べ替えることができます。 ● すでにカナ名称が登録された内線を選択した場合、ここで名称を変更できます。 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、その内線からの着信時、電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

3 [設定] をクリックします。

● 名称を削除する場合は、[削除] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

入力した名称が登録され、内線一覧に表示されます。以降、ここで登録した名称が、待機中や発着信時に電話機のディスプレイに表示されます。

● [削除] をクリックした場合は、名称が削除され、内線一覧には内線番号のみが表示されます。

ドアホン一覧を確認する

ドアホン一覧を表示して、ドアホン番号や名称を確認できます。

1 ［内線一覧］画面を表示して（➡ P.22）、［ドアホン］タブをクリックします。

［内線一覧］の表示が［ドアホン］タブに切り替わり、ドアホン一覧が表示されます。

ドアホンの名称を登録する 管理

本システムには、最大 9 台のドアホンを利用できます。Web 設定を使って、接続されたドアホンにそれぞれ名称を登録できます。ドアホンに名称を登録すると、ドアホン着信時に電話機のディスプレイにドアホン名称が表示されます。ドアホン名称には、漢字名称とカナ名称を登録できます。

1 ［内線一覧］画面を表示して（➡ P.22）、［ドアホン］タブをクリックします。

［内線一覧］の表示が［ドアホン］タブに切り替わり、ドアホン一覧が表示されます。

2 名称を登録するドアホン番号をクリックします。

すでに名称が登録されているドアホン番号を選択すると、名称の編集・削除を行うことができます。

3 以下の項目を設定します。

漢字名称とカナ名称の両方、またはどちらかを登録します。

項目	内容
漢字名称	選択したドアホンの漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号) で最大 10 文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。 ● ドアホンの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● すでに漢字名称が登録されたドアホンを選択した場合、ここで名称を変更できます。 ● 漢字名称を削除する場合は、[漢字名称] 欄を空白にします。 ● 選択したドアホンからの着信時、ここで登録した漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。
カナ名称	選択したドアホンのカナ名称を入力します。[カナ名称]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。 ● すでにカナ名称が登録されたドアホンを選択した場合、ここで名称を変更できます。 ● カナ名称を削除する場合は、[カナ名称] 欄を空白にします。 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、そのドアホンからの着信時、電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

4 [設定] をクリックします。

● ドアホンの設定を取り消すには、[削除] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

入力した名称が登録され、ドアホン一覧に表示されます。以降、ここで登録した名称が、ドアホン着信時に電話機のディスプレイに表示されます。

● [削除] をクリックした場合は、名称が削除され、ドアホン一覧にはドアホン番号のみが表示されます。

電話帳の登録（共通電話帳 / 個別電話帳）

本システムでは、共通電話帳と個別電話帳 2 つの電話帳を使い分けることができます。共通電話帳は、テナントに所属するすべての内線で利用できます。個別電話帳は各内線ごとに利用できます。それぞれの電話帳に別々の情報（電話番号や漢字名称、カナ名称など）を登録できます。共通電話帳と個別電話帳ともに、登録時にグループを指定して、取引先別など、電話帳をグループ分けすることもできます。
共通電話帳と個別電話帳を合わせて、最大 10,000 件までの情報を登録できます。

電話帳は、ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
共通電話帳の登録内容を確認する	○	○	P.28
共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する	○	−	P.31
共通電話帳の登録内容を編集 / 削除する	○	−	P.34
共通電話帳のグループを管理する	○	△（参照のみ）	P.35
個別電話帳の登録内容を確認する	○	○	P.38
個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する	○	○	P.40
個別電話帳の登録内容を編集 / 削除する	○	○	P.42
個別電話帳のグループを管理する	○	○	P.44

○：操作可能
△：閲覧のみ可能
−：操作不可

共通電話帳の登録内容を確認する 管理 一般

共通電話帳に登録されている内容を確認できます。電話帳一覧では、メモリ番号を 500 件ごとにプルダウンできるので、目的の相手を素早く見つけることができます。カナ名称が登録されている場合は、一覧の表示をカナ順に並べ替えることもできます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［電話帳］−［共通電話帳］をクリックします。

［共通電話帳］の［電話帳一覧］タブに電話帳一覧が表示されます。

3 ［並び替え］のプルダウンメニューで目的のメモリ番号のグループを選択します。

- ［次へ］をクリックすると、次ページ方向にスクロールされます。
- ［前へ］をクリックすると、前ページ方向にスクロールされます。
- 共通電話帳のカナ名称が登録されている場合、［カナ順］をクリックすると、電話帳一覧がカナ名称順に並び替わります。

4 詳細情報を確認する場合は、目的のメモリ番号をクリックします。

- 管理ユーザの場合は［詳細情報］の内容が編集可能な状態で表示されます。共通電話帳の編集については、「共通電話帳の登録内容を編集 / 削除する」（➡ P.34）を参照してください。
- 一般ユーザの場合は［詳細情報］の内容が表示され、内容は編集できません。
- 一覧表示に戻す場合は、［電話帳一覧］タブをクリックします。

＜管理ユーザの場合の詳細情報＞

電話帳一覧　新規登録　電話帳グループ

詳細情報

共通電話帳詳細情報を表示します。
(*)は必須設定項目です。

メモリ番号		0000
電話番号1(*)		03-1111-2222（半角32桁以内）※1 外線 00（方路指定選択時のみ有効、0〜63）
電話番号2(*)		（半角32桁以内）※1 外線 00（方路指定選択時のみ有効、0〜63）
電話番号3(*)		（半角32桁以内）※1 外線 00（方路指定選択時のみ有効、0〜63）
漢字名称		○○株式会社（全角16文字／半角32文字以内）
カナ名称		ﾏﾙﾏﾙｶﾌﾞｼｷｶｲｼｬ（半角32文字以内）
電話帳グループ番号		グループ0
識別着信音		◉無し　○トーン 1　○メロディ 着信メロディ1　○外部音源 1
着信形式	昼	無し ※2
	夜間A-1	無し ※2
	夜間A-2	無し ※2
	夜間A-3	無し ※2
	夜間B	無し ※2
ACR機能		○利用しない　◉利用する
発番号通知		網契約に従う
メモ		（全角16文字／半角32文字以内）

※1 設定には電話番号1〜3の最低1つの登録が必要です
（未入力の場合は番号無しとなります）
※2 内線選択時　:内線番号1〜4桁
DGL選択時　:グループ 0〜99
MSA選択時　:グループ 0〜99
開番号選択時　:番号1〜4桁
着信代行選択時　:MBX番号1〜8桁

設定　削除

＜一般ユーザの場合の詳細情報＞

電話帳一覧　電話帳グループ

詳細情報

共通電話帳詳細情報を表示します。

メモリ番号		0000
電話番号1		03-1111-2222（発信種別:外線）
電話番号2		
電話番号3		
漢字名称		○○株式会社
カナ名称		ﾏﾙﾏﾙｶﾌﾞｼｷｶｲｼｬ
電話帳グループ番号		グループ0
識別着信音		無し
着信形式	昼	無し
	夜間A-1	無し
	夜間A-2	無し
	夜間A-3	無し
	夜間B	無し
ACR機能		利用する
発番号通知		網契約に従う
メモ		

共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する　管理

共通電話帳に電話番号や漢字名称、カナ名称などを新規に登録します。

1　[共通電話帳]画面を表示して(➡ P.28)、[新規登録]タブをクリックします。

[新規登録]タブに切り替わり、電話帳の項目が表示されます。

2　基本情報を登録します。

(＊)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メモリ番号＊	メモリ番号を入力します。 ● 「＊」を入力すると、空き番号のなかで、一番若い番号が自動的に選択されます。 ● 0 ～ 9999 の範囲で選択できます。 ● すでに登録されているメモリ番号を選択すると、保存時にエラーメッセージが表示され、上書きできませんのでご注意ください。 ※すでに登録されているメモリ番号に電話番号を登録(変更)したい場合は、編集画面を表示して(➡ P.34)、変更してください。

項目	内容
電話番号 1* 電話番号 2* 電話番号 3*	最低 1 つの電話番号の登録が必要です。 電話番号を入力し、プルダウンメニューから電話番号種別を選択します。 **外線**：外線番号の登録時に選択します。 **特番展開**：主装置に接続されている内線電話の電話番号（内線番号）の登録時に選択します。 **PBX**：構内交換機（PBX）に接続されている内線電話の電話番号（内線番号）の登録時に選択します。 **方路指定**：方路を指定する場合、方路番号を入力します。 ● それぞれ最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ - ：オートポーズ、P：PB 切替、E：自動終話コード、[ ]（スペース）：ネスティングダイヤル）が入力できます。 **MEMO** ● 電話番号登録の詳細については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「1-7 電話帳の登録」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。
漢字名称	必要に応じて、漢字名称を入力します。漢字名称を登録すると、以降、この相手からの着信時に漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。 ● 全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大全角 16 文字まで入力できます。
カナ名称	必要に応じて、カナ名称を入力します。[名称（カナ）] を登録すると、電話帳一覧をカナ順に並べ替えることができます。 ● 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大半角 32 文字 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称を登録すると、以降、この相手からの着信時にカナ名称が電話機のディスプレイに表示されます。
メモ	必要に応じて、メモを入力します。 ● 全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大全角 16 文字まで入力できます。

3 必要に応じて、[全設定項目表示] をクリックし、詳細情報を登録します。

項目		内容
電話帳グループ番号		プルダウンメニューからグループ番号を選択します。 0～9のグループ番号を選択できます。 ● 管理ユーザの場合、共通電話帳グループの名称や着信ランプの種類などを設定できます（➡ P.35）。
識別着信音		着信音の種類をクリックし、プルダウンメニューからパターンを選択します。 ● 識別着信しない場合は［無し］をクリックします。
着信形式	昼	プルダウンメニューから[無し]、[内線]、[DGL グループ]、[MSA グループ]、[閉番号]、[付加番号 DID]、[着信代行]、[転送リモコン]、[留守リモコン]、[一般着信]のいずれかの着信形式を選択し、着信先の番号を入力します。 ● ［一般着信］を選択した場合は何も入力しないでください。
	夜間 A1	
	夜間 A2	
	夜間 A3	
	夜間 B	
ACR 機能		[利用しない]または[利用する]のどちらかをクリックします。
発番号通知		発信時に電話番号を通知するかどうかを設定します。 プルダウンメニューから[網契約に従う]、[非通知]または[通知]のいずれかを選択します。

4 [設定]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

登録した内容が共通電話帳に保存され、共通電話帳の電話帳一覧に表示されます。

共通電話帳の登録内容を編集 / 削除する

共通電話帳にすでに登録されている相手の情報を編集または削除します。

1 [共通電話帳] の [電話帳一覧] タブで (➡ P.28)、目的のメモリ番号をクリックします。

[電話帳一覧] タブの [詳細情報] に切り替わり、電話帳の登録内容が表示されます。

2 必要に応じて、登録内容を編集します。

（＊）の付いた項目を空欄にしないでください。

電話帳一覧　新規登録　電話帳グループ

詳細情報

共通電話帳詳細情報を表示します。
(*)は必須設定項目です。

項目		設定
メモリ番号		0002
電話番号1(*)		03-444-555 （半角32桁以内）※1 外線 00 （方路指定選択時のみ有効、0～63）
電話番号2(*)		（半角32桁以内）※1 外線 00 （方路指定選択時のみ有効、0～63）
電話番号3(*)		（半角32桁以内）※1 外線 00 （方路指定選択時のみ有効、0～63）
漢字名称		△一株式会社 （全角16文字／半角32文字以内）
カナ名称		ﾔﾏｲﾁｶﾌﾞｼｷｶﾞｲｼｬ （半角32文字以内）
電話帳グループ番号		グループ0
識別着信音		◉無し ○トーン 1 ○メロディ 着信メロディ1 ○外部音源 1
着信形式	昼	無し ※2
	夜間A1	無し ※2
	夜間A2	無し ※2
	夜間A3	無し ※2
	夜間B	無し ※2
ACR機能		○利用しない ◉利用する
発番号通知		網契約に従う
メモ		（全角16文字／半角32文字以内）

※1 設定には電話番号1～3の最低1つの登録が必要です
（未入力の場合は番号無しとなります）
※2 内線選択時　:内線番号1～4桁
DGL選択時　:グループ 0～99
MSA選択時　:グループ 0～99
閉番号選択時　:番号1～4桁
着信代行選択時　:MBX番号1～8桁

設定　削除

下記以外の設定項目については、「共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する」(➡P.31)の手順２～３を参照してください。

項目		内容
着信形式	昼	プルダウンメニューから [無し]、[内線]、[DGL グループ]、[MSA グループ]、[閉番号]、[付加番号 DID]、[着信代行]、[転送リモコン]、[留守リモコン]、[一般着信] のいずれかの着信形式を選択し、着信先の番号を入力します。 ● [一般着信] を選択した場合は何も入力しないでください。
	夜間 A1	
	夜間 A2	
	夜間 A3	
	夜間 B	

項目	内容
ACR 機能	[利用しない]または[利用する]のどちらかをクリックします。
発番号通知	発信時に電話番号を通知するかどうかを設定します。 プルダウンメニューから[網契約に従う]、[非通知]または[通知]のいずれかを選択します。

3 **[設定]をクリックします。**

● 登録を削除する場合は、[削除]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

4 **表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。**

編集した内容が共通電話帳に保存され、電話帳一覧の内容が更新されます。

共通電話帳のグループを管理する

共通電話帳には、あらかじめ 10 個のグループが用意されています。このグループに漢字名称やカナ名称、リモートコールバック利用の有無、着信ランプの色を登録できます。

● 共通電話帳グループの場合、一般ユーザが操作できるのはグループ一覧の閲覧のみです。
● 登録先のグループは、電話帳の新規登録時（➡ P.31）または編集時（➡ P.34）に指定します。

ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

■ すでに登録されているグループ情報を確認する（➡ P.35）
■ グループ情報を登録する　　（➡ P.36）

■ すでに登録されているグループ情報を確認する

1 **[共通電話帳]画面を表示して（➡ P.28）、[電話帳グループ]タブをクリックします。**

[電話帳グループ]タブに切り替わり、共通電話帳のグループ一覧が表示されます。

＜管理ユーザの共通電話帳グループ一覧＞

管理ユーザの場合、このままグループ情報を登録することもできます。

電話帳一覧 | 新規登録 | 電話帳グループ

電話帳グループ

共通電話帳グループを編集します。

電話帳グループ番号	漢字名称（全角5文字／半角10文字以内）	カナ名称（半角10文字以内）	リモートコールバック	着信ランプ
グループ0	ｸﾞﾙｰﾌﾟ0	ｸﾞﾙｰﾌﾟ0	する	設定無し
グループ1	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1	する	設定無し
グループ2	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	しない	設定無し
グループ3	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	しない	設定無し
グループ4	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4	しない	設定無し
グループ5	ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	しない	設定無し
グループ6	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6	しない	設定無し
グループ7	ｸﾞﾙｰﾌﾟ7	ｸﾞﾙｰﾌﾟ7	しない	設定無し
グループ8	ｸﾞﾙｰﾌﾟ8	ｸﾞﾙｰﾌﾟ8	しない	設定無し
グループ9	ｸﾞﾙｰﾌﾟ9	ｸﾞﾙｰﾌﾟ9	しない	設定無し

設 定 | 初期化

＜一般ユーザの共通電話帳グループ一覧＞

電話帳一覧 | 電話帳グループ

電話帳グループ

共通電話帳グループを表示します。

電話帳グループ番号	漢字名称	カナ名称	リモートコールバック	着信ランプ
グループ0	ｸﾞﾙｰﾌﾟ0	ｸﾞﾙｰﾌﾟ0	する	設定無し
グループ1	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1	する	設定無し
グループ2	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	しない	設定無し
グループ3	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	しない	設定無し
グループ4	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4	しない	設定無し
グループ5	ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	しない	設定無し
グループ6	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6	しない	設定無し
グループ7	ｸﾞﾙｰﾌﾟ7	ｸﾞﾙｰﾌﾟ7	しない	設定無し
グループ8	ｸﾞﾙｰﾌﾟ8	ｸﾞﾙｰﾌﾟ8	しない	設定無し
グループ9	ｸﾞﾙｰﾌﾟ9	ｸﾞﾙｰﾌﾟ9	しない	設定無し

■ グループ情報を登録する 管理

1 [共通電話帳] の [電話帳グループ] タブで（➡ P.35）、目的のグループ番号の以下の項目を設定します。

電話帳一覧 | 新規登録 | 電話帳グループ

電話帳グループ

共通電話帳グループを編集します。

電話帳グループ番号	漢字名称（全角5文字／半角10文字以内）	カナ名称（半角10文字以内）	リモートコールバック	着信ランプ
グループ0	ｸﾞﾙｰﾌﾟ0	ｸﾞﾙｰﾌﾟ0	する	設定無し
グループ1	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1	する	設定無し
グループ2	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	しない	設定無し
グループ3	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	しない	設定無し
グループ4	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4	しない	設定無し
グループ5	ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	しない	設定無し
グループ6	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6	しない	設定無し
グループ7	ｸﾞﾙｰﾌﾟ7	ｸﾞﾙｰﾌﾟ7	しない	設定無し
グループ8	ｸﾞﾙｰﾌﾟ8	ｸﾞﾙｰﾌﾟ8	しない	設定無し
グループ9	ｸﾞﾙｰﾌﾟ9	ｸﾞﾙｰﾌﾟ9	しない	設定無し

設 定 | 初期化

項目	内容
漢字名称	選択したグループの漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号) で最大 5 文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 10 文字まで入力できます。 ● グループの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● すでに漢字名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
カナ名称	選択したグループのカナ名称を入力します。[カナ名称]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 10 文字まで入力できます。 ● すでにカナ名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
リモートコールバック	リモートコールバック機能を利用するかどうかを設定します。プルダウンメニューから[利用する]/[利用しない]のどちらかを選択します。
着信ランプ	該当グループに所属する電話番号からの着信時に表示するランプの色を選択します。プルダウンメニューから目的の色を選択します。 ● [設定無し] を選択すると、電話機に設定されている着信ランプの色になります。

2 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

3 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

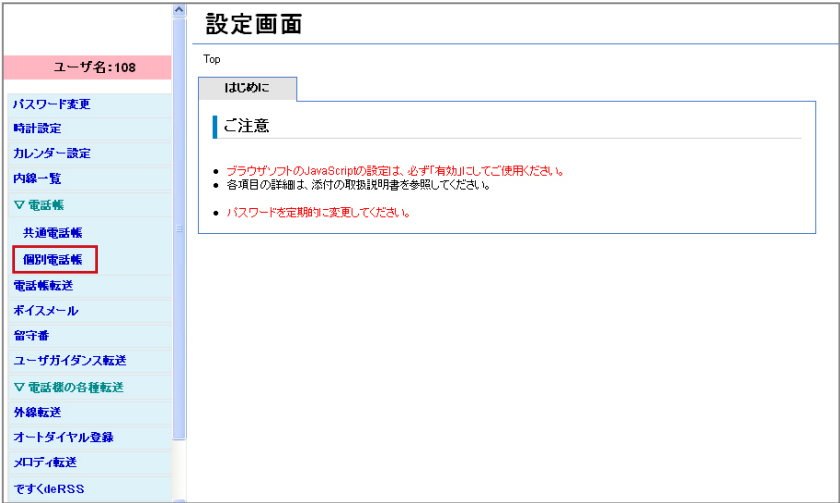
登録したグループ情報が登録され、グループ一覧に表示されます。

個別電話帳の登録内容を確認する 管理 一般

個別電話帳に登録されている内容を確認できます。電話帳一覧では、メモリ番号を 500 件ごとにプルダウンできるので、目的の相手を素早く見つけることができます。カナ名称が登録されている場合は、一覧の表示をカナ順に並べ替えることもできます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［電話帳］－［個別電話帳］をクリックします。

［個別電話帳］の［電話帳一覧］タブに電話帳一覧が表示されます。

3 [並び替え] のプルダウンメニューで目的のメモリ番号のグループを選択します。

- [次へ] をクリックすると、次ページ方向にスクロールされます。
- [前へ] をクリックすると、前ページ方向にスクロールされます。

> **MEMO**
> 50 件未満の場合は、ページはスクロールしません。

- 個別電話帳のカナ名称が登録されている場合、[カナ順] をクリックすると、電話帳一覧がカナ名称順に並び替わります。

4 詳細情報を確認する場合は、目的のメモリ番号をクリックします。

選択したメモリ番号の詳細情報が表示されます。

- 一覧表示に戻す場合は、[電話帳一覧] タブをクリックします。

電話帳一覧　新規登録　電話帳グループ

詳細情報

電話機毎の個別電話帳を編集します。

(*)は必須設定項目です。

項目	設定
メモリ番号	0000
電話番号1(*)	03-1111-2222 (半角32桁以内) ※1 外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0～63)
電話番号2(*)	(半角32桁以内) ※1 外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0～63)
電話番号3(*)	(半角32桁以内) ※1 外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0～63)
漢字名称	○○商事 (全角16文字／半角32文字以内)
カナ名称	ﾏﾙﾏﾙｼｮｳｼﾞ (半角32文字以内)
電話帳グループ番号	グループ0
識別着信音	◉無し ○トーン 1 ○メロディ 着信メロディ1 ○外部音源 1
ACR機能	○利用しない ◉利用する
発番号通知	網契約に従う
メモ	(全角16文字／半角32文字以内)

※1 設定には電話番号1～3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)

設定　削除

個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する

個別電話帳に電話番号や漢字名称、カナ名称などを新規に登録します。

1 ［個別電話帳］画面を表示して（➡ P.38）、［新規登録］タブをクリックします。

［新規登録］タブに切り替わり、電話帳の項目が表示されます。

2 基本情報を登録します。

電話帳一覧　新規登録　電話帳グループ

新規登録

個別電話帳を新規に作成します。
全項目を設定する場合は、「全設定項目表示」をクリックしてください。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 (半角数字1～4桁)

メモリ番号(*)	* (0000～9999/*:空き番号へ登録)
電話番号1(*)	03-3333-4444 (半角32桁以内) ※1 外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0～63)
電話番号2(*)	(半角32桁以内) ※1 外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0～63)
電話番号3(*)	(半角32桁以内) ※1 外線 00 (方路指定選択時のみ有効、0～63)
漢字名称	山田 (全角16文字／半角32文字以内)
カナ名称	ﾔﾏﾀﾞ (半角32文字以内)
メモ	(全角16文字／半角32文字以内)

※1 登録には電話番号1～3の最低1つの登録が必要です
（未入力の場合は番号無しとなります）

設定　全設定項目表示

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メモリ番号＊	メモリ番号を入力します。 ● 「＊」を入力すると、空き番号のなかで、一番若い番号が自動的に選択されます。 ● 0 ～ 9999 の範囲で選択できます。 ● すでに登録されているメモリ番号を選択すると、保存時にエラーメッセージが表示され、上書きできませんのでご注意ください。 ※すでに登録されているメモリ番号に電話番号を登録（変更）したい場合は、編集画面を表示して（➡ P.42）、変更してください。

項目	内容
電話番号 1* 電話番号 2* 電話番号 3*	最低 1 つの電話番号の登録が必要です。 電話番号を入力し、プルダウンメニューから電話番号種別を選択します。 **外線**：外線番号の登録時に選択します。 **特番展開**：主装置に接続されている内線電話の電話番号（内線番号）の登録時に選択します。 **PBX**：構内交換機（PBX）に接続されている内線電話の電話番号（内線番号）の登録時に選択します。 **方路指定**：方路を指定する場合、方路番号を入力します。 ● それぞれ最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ - ：オートポーズ、P：PB 切替、E：自動終話コード、[ ]（スペース）：ネスティングダイヤル）が入力できます。 **MEMO** ● 電話番号登録の詳細については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「1-7 電話帳の登録」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。
漢字名称	必要に応じて、漢字名称を入力します。漢字名称を登録すると、以降、この相手からの着信時に漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。 ● 全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大全角 16 文字まで入力できます。
カナ名称	必要に応じて、カナ名称を入力します。カナ名称を登録すると、電話帳一覧をカナ順に並べ替えることができます。 ● 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大半角 32 文字 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称を登録すると、以降、この相手からの着信時にカナ名称が電話機のディスプレイに表示されます。
メモ	必要に応じて、メモを入力します。 ● 全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大全角 16 文字まで入力できます。

3 必要に応じて、[全設定項目表示] をクリックし、詳細情報を登録します。

項目	内容
電話帳グループ番号	プルダウンメニューからグループ番号を選択します。 0～9のグループ番号を選択できます。 ● 個別電話帳グループの名称や着信ランプの種類などを設定できます（➡ P.44）。
識別着信音	着信音の種類をクリックし、プルダウンメニューからパターンを選択します。 ● 識別着信しない場合は［無し］をクリックします。
ACR 機能	新規登録時は、初期設定［利用しない］を変更できません。［ACR機能］の設定変更は、共通電話帳の編集時に行います。詳しくは、「個別電話帳の登録内容を編集 / 削除する」（➡ P.42）を参照してください。
発番号通知	新規登録時は、初期設定［網契約に従う］を変更できません。［発番号通知］の設定変更は、共通電話帳の編集時に行います。詳しくは、「個別電話帳の登録内容を編集 / 削除する」（➡ P.42）を参照してください。

4 ［設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

登録した内容が個別電話帳に保存され、個別電話帳の電話帳一覧に表示されます。

個別電話帳の登録内容を編集 / 削除する　管理　一般

個別電話帳にすでに登録されている相手の情報を編集または削除します。

1 ［個別電話帳］の［電話帳一覧］タブで（➡ P.38）、目的のメモリ番号をクリックします。

［電話帳一覧］タブの［詳細情報］に切り替わり、電話帳の登録内容が表示されます。

2 必要に応じて、登録内容を編集します。

（*）の付いた項目を空欄にしないでください。ただし、[電話番号 1]～[電話番号 3]のいずれか 1 つに電話番号が入力されていれば、残りの 2 つが空欄でも問題ありません。

下記以外の設定項目については、「個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する」（➡P.40）の手順 2 ～ 3 を参照してください。

項目	内容
ACR 機能	[利用しない] または [利用する] のどちらかをクリックします。
発番号通知	発信時に電話番号を通知するかどうかを設定します。 プルダウンメニューから [網契約に従う]、[非通知] または [通知] のいずれかを選択します。

3 [設定] をクリックします。

- 登録を削除する場合は、[削除] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

編集した内容が個別電話帳に保存され、電話帳一覧の内容が更新されます。

個別電話帳のグループを管理する 管理 一般

個別電話帳には、あらかじめ 10 個のグループが用意されています。このグループに漢字名称やカナ名称、リモートコールバック利用の有無、着信ランプの色を登録できます。

- 登録先のグループは、電話帳の新規登録時（➡ P.31）または編集時に指定します（➡ P.42）。

ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

■ すでに登録されているグループ情報を確認する（➡ P.44）
■ グループ情報を登録する（➡ P.45）

■ すでに登録されているグループ情報を確認する

1 **[個別電話帳]画面を表示して(➡P.38)、[電話帳グループ]タブをクリックします。**

[電話帳グループ]タブに切り替わり、個別電話帳のグループ一覧が表示されます。
このままグループ情報を登録することもできます。

■ グループ情報を登録する

1 [個別電話帳]の[電話帳グループ]タブで(➡ P.44)、目的のグループ番号の以下の項目を設定します。

項目	内容
漢字名称	選択したグループの漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大5文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大10文字まで入力できます。 ● グループの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● すでに漢字名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
カナ名称	選択したグループのカナ名称を入力します。[カナ名称]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大10文字まで入力できます。 ● すでにカナ名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
着信ランプ	該当グループに所属する電話番号からの着信時に表示するランプの色を選択します。プルダウンメニューから目的の色を選択します。 ● [設定無し]を選択すると、電話機に設定されている着信ランプの色になります。

2 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

3 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

登録したグループ情報が登録され、グループ一覧に表示されます。

電話帳のバックアップと取り込み（電話帳転送） 管理

本システムに登録されている共通電話帳と個別電話帳のデータを PC（パソコン）の任意のフォルダに保存し、バックアップデータを作成できます。また、PC に保存したしたバックアップデータを本システムに取り込んで復元することもできます。

電話帳のデータを PC にバックアップする

共通電話帳または個別電話帳を PC 上の任意のフォルダに保存し、バックアップファイルを作成します。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［電話帳転送］をクリックします。

［電話帳転送］の設定内容が表示されます。

3 [電話帳種別]のプルダウンメニューから[共通電話帳]または[個別電話帳]を選択します。

4 [バックアップ]の[ファイルのダウンロード]をクリックします。

電話帳転送

電話帳転送

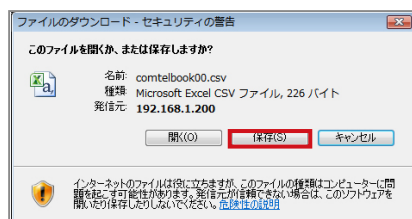
電話帳のバックアップ/リストアを行います。
※転送には時間がかかる場合があります

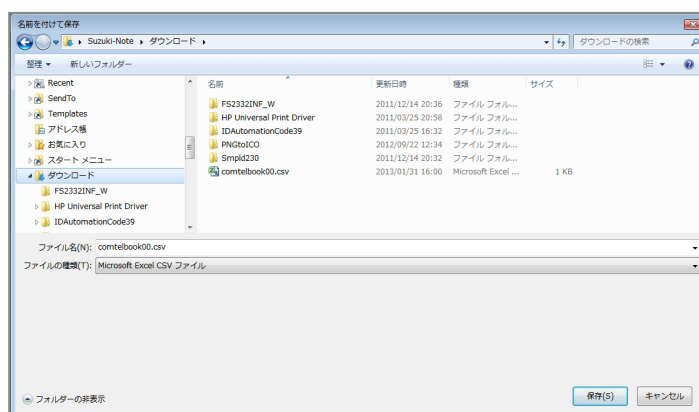
電話帳種別 共通電話帳

バックアップ
ファイルのダウンロード

リストア
参照...
※リストアする場合は参照先を必ず指定してください
実 行

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで[保存]をクリックします。

Windows の[名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

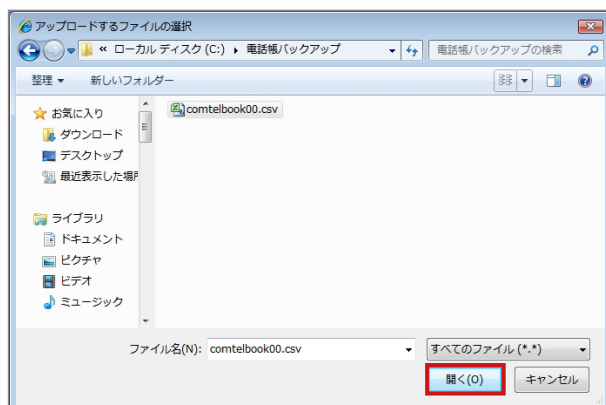
6 保存する場所(保存先フォルダ)とバックアップファイル名を指定し、[保存]をクリックします。

手順 3 で選択した電話帳データが指定したフォルダに指定したファイル名で保存されます。

PC にバックアップしたデータを取り込む

PC（パソコン）にバックアップした共通電話帳または個別電話帳のデータを本システムの主装置に取り込みます。

1 ［電話帳転送］画面で（➡ P.46）、［リストア］の［参照］をクリックします。

Windows の［アップロードするファイルの選択］ダイアログが表示されます。

2 復元するファイルを指定し、［開く］をクリックします。

ファイルの取り込みが完了すると、選択したファイル名が［リストア］に表示されます。

3 ［実行］をクリックします。

選択した電話帳のバックアップデータが本システムの主装置に取り込まれます。

ボイスメールの管理（内蔵ボイスメール）

留守番や外線着信代行、不在代行などでメールボックス内に録音されたボイスメール（メッセージ）を PC（パソコン）上の任意のフォルダに保存したり、削除したりすることができます。ボイスメールの保存は、手動 / 自動で行うことができます。また、ボイスメールが録音されたことを決まった時間帯に指定の電話番号へ電話でお知らせするように設定することもできます。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線またはテナントに指定されたメールボックス内のボイスメールのみ管理できます（外部自動保存を除く）。
- 管理ユーザの場合は全メールボックス内のボイスメールを管理できます。

工事設定

- 主装置の IP アドレスが登録されていない場合、外部保存設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- メールボックス番号が登録されていない場合、外部保存設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。

ボイスメールの管理は、ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
ボイスメールを保存 / 削除する（ボイスメール管理）	○	○	P.50
ボイスメール録音の通知先を設定する（録音通知先設定）	○	○	P.52
ボイスメールを FTP サーバに自動転送する（外部保存設定）	○	−	P.53

○：操作可能
−：操作不可

ボイスメールを保存 / 削除する（ボイスメール管理） 管理 一般

指定したメールボックス内のボイスメールを手動で PC（パソコン）上に保存したり、削除したりすることができます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［ボイスメール］をクリックします。

［ボイスメール］の［ボイスメール管理］タブの設定内容が表示されます。

3 以下の項目を設定します。

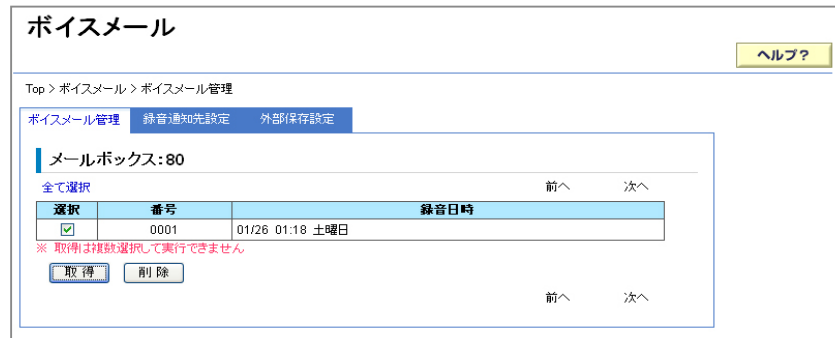
（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メールボックス番号 *	PC に保存する、または削除するメールボックス番号を入力します。 ● 一般ユーザの場合、ご自分の内線またはテナントに指定されている共通メールボックス番号を入力します。
パスワード	メールボックスにパスワードが設定されている場合はパスワードを入力します。 ● パスワードが設定されていない場合は空欄のままにします。

4 [選択] をクリックします。

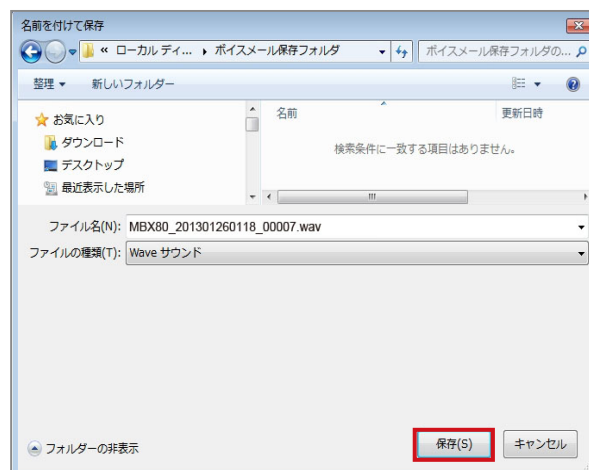
指定したメールボックス内のボイスメールが一覧表示されます。

5 PC に保存するボイスメールをチェックし、[取得] をクリックします。

- 削除する場合は、[削除] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

6 メッセージダイアログで [保存] をクリックします。

Windows の [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

7 PC 上の任意の保存先フォルダとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

選択したボイスメールが指定したフォルダに指定したファイル名で保存されます。

ボイスメール録音の通知先を設定する（録音通知先設定）

ボイスメールが録音されたことを決まった時間帯に指定の電話番号へ電話でお知らせするように設定します。

1 ［ボイスメール］画面を表示して（➡P.50）、［録音通知先設定］タブをクリックします。

ボイスメール
ユーザ名:108
パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイダンス転送
▽電話機の各種転送
外線転送
オートダイヤル登録
Top > ボイスメール > ボイスメール管理
ボイスメール管理　録音通知先設定　外部保存設定
メールボックスアクセス
メールボックスごとに任意の録音内容を取得/消去を行います。（内蔵ボイスメール装置の場合）
(*)は必須設定項目です。
メールボックス番号(*)　（半角数字1～4桁）
パスワード　（半角数字4桁）※1
※1 パスワード未入力の場合はパスワード無しとなります
選択

［録音通知先設定］タブに切り替わり、通知先の登録内容が表示されます。

ボイスメール
ヘルプ?
ユーザ名:108
パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイダンス転送
▽電話機の各種転送
外線転送
オートダイヤル登録
Top > ボイスメール > 録音通知先設定
ボイスメール管理　録音通知先設定　外部保存設定
メッセージ録音通知先設定
留守番/外線着信代行/不在代行/無応答代行/圏外代行の各機能で発信者からの用件が録音されると、あらかじめ設定した通知先に自動的に発信する設定を行います。
(*)は必須設定項目です。
メールボックス番号(*)　選択　（半角数字1～4桁）
通知先番号(*)　（半角32桁以内）
通知時間帯　:　～　:　（00:00～00:00：24時間動作）※1
※1 未入力の場合は時間帯指定無しとなります
設定　削除

2 以下の項目を設定します。

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メールボックス番号＊	対象のメールボックス番号を入力し、［選択］をクリックします。 ● 一般ユーザの場合、ご自分の内線またはテナントに指定されている共通メールボックス番号を入力します。
通知先番号＊	通知先電話番号を特番から入力します。
通知時間帯	通知時間帯の開始と終了時間をそれぞれ入力します。

3 ［設定］をクリックします。

- 設定を取り消す場合は、［削除］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

以降、指定したメールボックスにボイスメールが録音されると、［通知先番号］で指定した電話番号に、［通知時間帯］で指定した時間帯に電話がかかり、ボイスメールの録音が通知されます。

ボイスメールを FTP サーバに自動転送する（外部保存設定） 管理

指定したタイミングで、メールボックスに録音されたすべてのボイスメールを自動的にネットワーク上の FTP サーバに転送するように設定できます。ボイスメールをサーバに転送したあと、メールボックスから自動的に削除するように設定することもできます。
一度転送されたボイスメールは再転送されません。

1 ［ボイスメール］画面を表示して（➡P.50）、［外部保存設定］タブをクリックします。

［外部保存設定］タブに切り替わり、通外部保存設定の内容が表示されます。

第2章 機能設定

2 ［外部保存実施］で［する］をクリックし、以下の項目を設定します。

項目		内容
外部保存実施		ボイスメールを FTP サーバに転送するかどうかを設定します。 ● 初期設定は［しない］です。
外部保存間隔		転送のタイミング（間隔）を指定します。 ［日］のプルダウンメニューから日にちを選択し、［時］のプルダウンメニューから時間を選択します。 ● 日にちは、1 ～ 10 日の範囲から、時間は 00 ～ 23 時の範囲から選択できます。指定した日にち間隔で指定した時刻に保存されます。 ● 登録後にシステム時刻を変更しても、転送日は再計算されません。
送信先 URL/IP アドレス		保存する PC（パソコン）の FTP アドレスを「送信先 URL」欄に入力します。（例 : ftp://xxx.xxx.xxx）
FTP アカウント	ユーザ ID	FTP サーバに登録した「ユーザ ID」を入力します。
	パスワード	FTP サーバに登録したパスワードを入力します。
外部保存用件の自動削除		FTP サーバに転送されたボイスメールをメールボックスから削除するかどうかを設定します。 ● 初期設定は［しない］です。

3 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- 外部保存をすぐに実行する場合は、［実行］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

以降、指定したタイミングになると、録音されたボイスメールが FTP サーバに自動的に転送されます。

留守番の設定（留守番） 管理

留守番設定時の動作について設定します。
以下の内容を設定できます。

- 自動応答利用時の動作を設定する（留守番タイマ連動）（➡ P.55）
- 手動応答利用時の動作を設定する（手動切替設定）（➡ P.59）
- 留守番機能の起動時間など、留守番関連の機能を設定する（関連設定）（➡ P.62）

自動応答利用時の動作を設定する（留守番タイマ連動）

留守番タイマ連動とは、外線着信に自動応答する機能です。留守番タイマ連動機能を使うと、曜日ごとに動作を、時間帯ごとに起動時間や留守番グループごとのモード、留守番モニタの有無、応答／終了ガイダンスの種類、録音通知の有無を設定できます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［留守番］をクリックします。

［留守番］の［タイマ連動設定］タブの設定内容が表示されます。

3 留守番タイマの動作を設定する曜日をクリックします。

4 選択した曜日の 00：00 時に切り替わる動作モードを選択し、［時間帯 1］の設定を行います。

項目		内容
動作選択	在宅	［時間帯 1］（0：00）の留守番機能を OFF に設定します。
	前日モードを継続	前日と同じモードに設定します。
	スケジュールに従う	登録したスケジュールどおりに動作させます。
時間帯 1	開始時間	［時間帯 1］は 00：00 に固定されています。
	留守番グループ動作	留守番グループごとの動作をプルダウンメニューから選択します。 **在宅**：留守番機能を OFF に設定します。 **応答録音**：外線着信に自動応答し、応答ガイダンスを流してガイダンス終了後にメッセージを録音します。 **応答専用**：外線着信に自動応答し、固定またはユーザガイダンスを 2 回流します。 **工事設定** ガイダンスを流したあと、自動的に電話が切れるように設定することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。
	留守番モニタ指定	留守番モニタ動作を選択します。 **サイレント**：録音中に相手のメッセージが聞こえないように設定します。 **モニタ**：録音中に相手のメッセージが聞こえるように設定します。

項目		内容
	応答ガイダンス指定	プルダウンメニューから応答ガイダンスの種類を選択します。 [固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。 **固定ガイダンス 1(録音なし)**：ただ今、留守にしています。しばらくしてからおかけ直しください。 **固定ガイダンス 1(録音あり)**：ただ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話しください。 **固定ガイダンス 2(録音なし)**：お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。後程、お電話いただきますようお願いいたします。 **固定ガイダンス 2(録音あり)**：お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。 **工事設定** メールボックス番号が登録されていない場合、応答録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 **MEMO** ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送](➡ P.64)を使って登録できます。
.	終了ガイダンス指定	プルダウンメニューから、最大録音時間を超えた状態で留守番タイマが起動したときに、「ピーピー」のお知らせ音のあとに流す終了ガイダンスを選択します。[ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 **無し：**「ピーピー」のお知らせ音のみを流します。 **固定ガイダンス：**「ピーピー」のお知らせ音のあとに「制限時間になりましたので、録音を終了します。」のガイダンスを流します。 **工事設定** ガイダンスを流したあと(「無し」の場合はお知らせ音のあと)、自動的に電話が切れるように設定することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。 **MEMO** ● ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(➡ P.64)。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。
	録音通知	メッセージが録音されたことを決まった時間帯に指定の電話番号へ電話で通知するかどうかを選択します。 **MEMO** メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号に通知されます(➡ P.52)。

5 手順 4 に従って、[時間帯 2] ～ [時間帯 10] の項目を設定します。設定した内容を違う曜日にコピーする場合、[コピー先] で目的の曜日にチェックを入れます。

必要な時間帯のみ設定します。
不要な時間帯を削除するには [削除] をクリックします。

6 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

7 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

選択した曜日と時間帯の留守番タイマの動作が登録され、タイムテーブルに表示されます。

タイマ連動設定　関連設定　手動切替設定

留守番タイマ連動設定

外線着信時の自動応答による用件録音機能について、曜日/時間毎に動作設定を行います。
各曜日をクリックし設定画面を表示してください。(内蔵ボイスメール装置の場合)

	日	月	火	水	木	金	土	休日／祝祭日
00:00	留守番	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								

手動応答利用時の動作を設定する(手動切替設定)

手動で留守番に切り替えたときの動作を留守番グループごとに設定します。また、手動切り替え時に流すガイダンスの種類なども設定できます。

1 [留守番]画面を表示して(➡ P.55)、[手動切替設定]タブをクリックします。

[手動切替設定]タブに切り替わり、手動切替設定の内容が表示されます。

2 手動で留守番切替を行ったときの動作を設定します。

タイマ連動設定　関連設定　手動切替設定

留守番手動切替設定

手動で留守番切替を行った時の動作設定を行います。

留守番グループ動作	グループA 応答録音 グループB 応答録音 グループC 応答録音 グループD 応答録音 ※1
留守番モニタ指定	サイレント モニタ
応答ガイダンス指定	固定ガイダンス1 番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス 番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)
録音通知	無し 有り ※2

※1 グループA~Dが全て在宅に設定した場合は在宅モードとなります
※2 通知先はボイスメールの画面から設定してください

設 定　初期化

項目	内容
留守番グループ動作	留守番グループごとの動作をプルダウンメニューから選択します。 **在宅**：留守番機能を OFF に設定します。 **応答録音**：外線着信に自動応答し、応答ガイダンスを流してガイダンス終了後にメッセージを録音します。 **応答専用**：外線着信に自動応答し、固定またはユーザガイダンスを 2 回流します。 **工事設定** ガイダンスを流したあと、自動的に電話が切れるように設定することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。
留守番モニタ指定	留守番モニタ動作を選択します。 **サイレント**：録音中に相手のメッセージが聞こえないように設定します。 **モニタ**：録音中に相手のメッセージが聞こえるように設定します。
応答ガイダンス指定	プルダウンメニューから応答ガイダンスの種類を選択します。 [固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2] のほか、[ユーザガイダンス] から選択できます。 [ユーザガイダンス] を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。 **固定ガイダンス 1（録音なし）**：ただ今、留守にしています。しばらくしてからおかけ直しください。 **固定ガイダンス 1（録音あり）**：ただ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話しください。 **固定ガイダンス 2（録音なし）**：お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。後程、お電話いただきますようお願いいたします。 **固定ガイダンス 2（録音あり）**：お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。 **工事設定** メールボックス番号が登録されていない場合、応答録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 **MEMO** ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]（➡ P.64）を使って登録できます。

項目	内容
終了ガイダンス指定	プルダウンメニューから、最大録音時間を超えた状態で留守番タイマが起動したときに、「ピーピー」のお知らせ音のあとに流す終了ガイダンスを選択します。[ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 **無し**：「ピーピー」のお知らせ音のみ流します。 **固定ガイダンス**：「ピーピー」のお知らせ音のあとに「制限時間になりましたので、録音を終了します。」のガイダンスを流します。 **工事設定** ガイダンスを流したあと（「無し」の場合はお知らせ音のあと）、自動的に電話が切れるように設定することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。 **MEMO** ● ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます（➡ P.64）。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。
録音通知	メッセージが録音されたことを決まった時間帯に指定の電話番号へ電話で通知するかどうかを選択します。 **MEMO** メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号に通知されます（➡ P.52）。

3 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

留守番機能の手動切替時の動作が登録されます。

留守番機能の起動時間など、留守番関連の機能を設定する（関連設定）

在宅モード / 留守番モードで自動応答するまでの時間やワンショット留守番機能で応答する際の応答ガイダンス、留守番切替時に優先させる動作の指定を行います。

1 [留守番] 画面を表示して（➡ P.55）、[関連設定] タブをクリックします。

[関連設定] タブに切り替わり、設定内容が表示されます。

2 以下の項目を設定します。

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
留守番起動時間 *	留守番起動時間を指定します。 **在宅モード時：**留守番が OFF の状態のときに、留守番を起動させる秒数を入力します。「0」を入力すると、着信に応答しない設定になります。 **留守番モード時：**留守番が ON の状態のときに、留守番を起動させる時間を入力します。「0」を入力すると、着信に即時応答する設定になります。 ● 在宅モード、留守番モードともに 0 ～ 180 秒の間で指定できます。
ワンショット留守番動作	プルダウンメニューからワンショット留守番で使うガイダンスの種類を選択します。 [固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2] のほか、[ユーザガイダンス] から選択できます。 [ユーザガイダンス] を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。 **固定ガイダンス 1（録音あり）：**ただ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話しください。 **固定ガイダンス 2（録音あり）：**お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。 **工事設定** メールボックス番号が登録されていない場合、応答録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 **MEMO** ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]（➡ P.64）を使って登録できます。
留守番切替指定	優先させる動作を指定します。 [手動優先] または [自動優先] のどちらかをクリックします。

3 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

留守番関連の設定が登録されます。

ユーザガイダンスの管理(ユーザガイダンス転送) 管理

ユーザガイダンスとは、留守番や転送などのサービス設定時に利用できるシステム管理電話機で録音した音声ファイルです。
録音音声のほか、PC(パソコン)に保存されている任意の音声ファイルを本システムに取り込んでユーザガイダンスとして登録することもできます。また、既存のユーザガイダンスの名称を変更したり、ファイルを削除したり、PC に転送したりすることもできます。
ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

- 既存のユーザガイダンスを変更 / 削除 / 転送する（ユーザガイダンス編集）（➡ P.64）
- PC 上の音声ファイルをユーザガイダンスとして登録する（新規登録）（➡ P.66）

既存のユーザガイダンスを変更 / 削除 / 転送する(ユーザガイダンス編集)

すでに登録されているユーザガイダンスの名称を変更したり、ファイルを削除したり、ファイルを PC 上の任意のフォルダに転送し、バックアップすることができます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(➡ P.3)

2 左メニューで [ユーザガイダンス転送] をクリックします。

[ユーザガイダンス転送] の [ガイダンス一覧] タブが表示され、既存のユーザガイダンス一覧が表示されます。

3 編集、削除または転送するユーザガイダンス番号をクリックします。

[ユーザガイダンス編集]の設定内容が表示されます。

4 ■ユーザガイダンス名称を変更する場合

[ガイダンス名(漢字名称)]と[ガイダンス名(カナ名称)]の内容を修正し、[ガイダンス名変更]をクリックします。

- [ガイダンス名(漢字名称)]には、全角 10 文字または半角 20 文字まで入力できます。
- [ガイダンス名(カナ名称)]には、半角 20 文字まで入力できます。

■ユーザガイダンスを削除する場合

[削除]をクリックします。

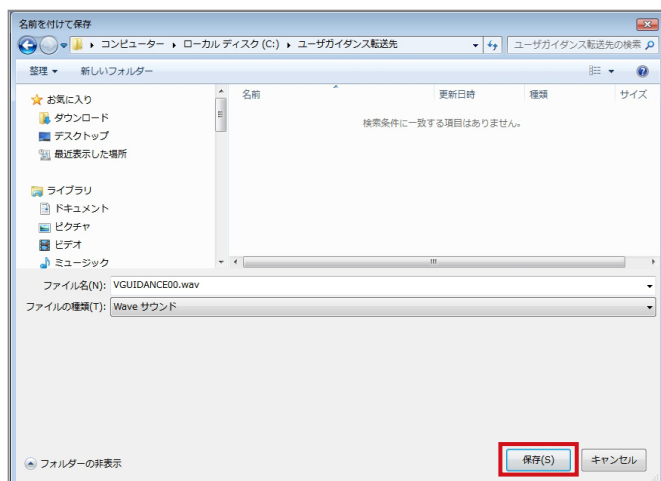
■ユーザガイダンスの音声ファイルを転送する場合

①[ダウンロード]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

②[保存]をクリックします。

Windows の[名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

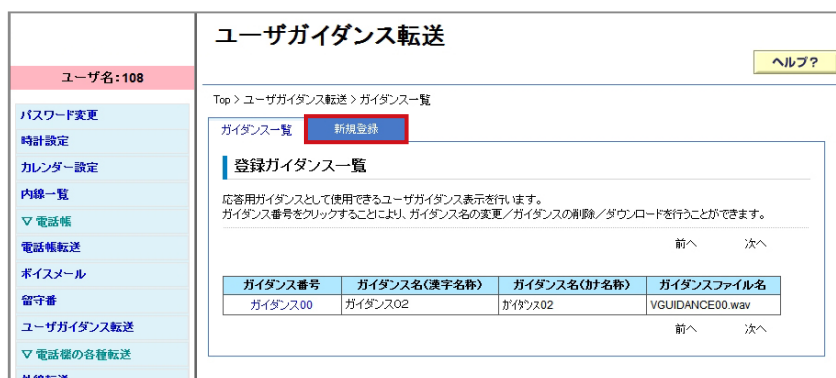
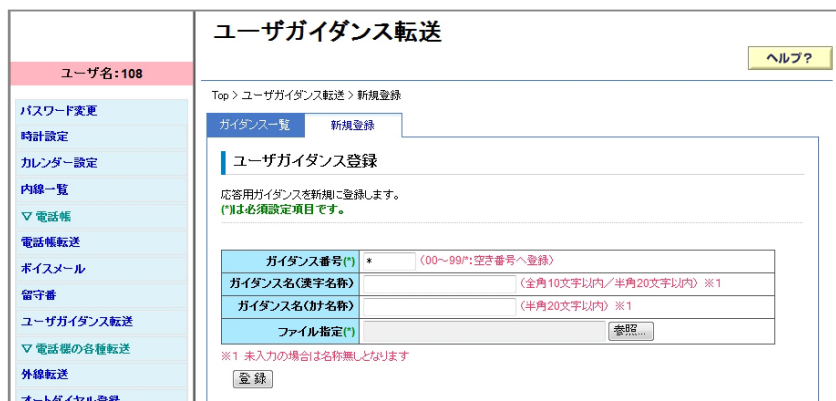
③転送先フォルダとファイル名を指定して[保存]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 **表示されたメッセージダイアログで、[閉じる]をクリックします。**

選択したユーザガイダンスが変更、削除または転送されます。

PC 上の音声ファイルをユーザガイダンスとして登録する（新規登録）

PC（パソコン）上の任意のフォルダに保存されている音声ファイルをユーザガイダンスとして本システムに取り込むことができます。

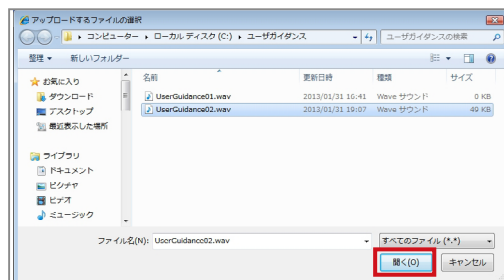
1 **[ユーザガイダンス転送]画面を表示して(➡P.64)、[新規登録]タブをクリックします。**

[新規登録]タブに切り替わり、設定内容が表示されます。

2 ユーザガイダンス名称などを設定します。

(＊)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
ガイダンス番号 *	登録先のガイダンス番号を入力します。 ● すでに登録されている番号には登録できません。 ● 「*」を入力すると、一番若い空き番号が自動的に選択されます。
ガイダンス名(漢字名称)	ユーザガイダンスの漢字名称を入力します。[ガイダンス名(漢字名称)]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大 10 文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。 ● ユーザガイダンスの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● ここで登録した漢字名称がユーザガイダンス一覧や電話機のディスプレイに表示されます。
ガイダンス名(カナ名称)	ユーザガイダンスのカナ名称を入力します。[ガイダンス名(カナ名称)]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、ユーザガイダンス一覧や電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

3 [参照] をクリックします。

Windows の[アップロードするファイルの選択] ダイアログが表示されます。

4 取り込む音声ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

選択した音声ファイル名が[ファイル指定] に表示されます。

5 [登録] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

6 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

選択した音声ファイルがユーザガイダンスとして登録されます。

各種転送の設定（電話機の各種転送）管理 一般

電話機の各種転送サービス（不在転送、話中転送、無応答転送、圏外転送）利用時の動作を着信種別ごとに設定できます。
一般ユーザの場合は、ご自分の内線の転送動作のみ、管理ユーザの場合は全内線の転送動作を設定できます。
ここでは、以下の 4 つの転送について説明します。

- 不在転送の利用設定および動作設定をする（不在転送）（➡ P.68）
- 話中転送の動作を設定する（話中転送）（➡ P.81）
- 無応答転送の動作を設定する（無応答転送）（➡ P.87）
- 圏外転送の動作を設定する（圏外転送）（➡ P.96）

不在転送の利用設定および動作設定をする（不在転送）

不在転送の利用設定や不在理由の内容変更、着信種別ごとの動作設定を行います。
ここでは、以下の 6 つの操作について説明します。

■不在転送の利用設定を行う（不在モード設定）（➡ P.68）
■不在転送の転送理由を変更する（不在理由設定）（➡ P.70）
■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（➡ P.71）
■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（➡ P.73）
■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（➡ P.76）
■発信者ごとに転送動作を設定する（発信者別）（➡ P.79）

■不在転送の利用設定を行う（不在モード設定）

内線、外線または専用線から着信があったときに、不在転送を行うかどうかを設定します。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［電話機の各種転送］－［不在転送］をクリックします。

［電話機の各種転送］－［不在転送］の［不在モード設定］タブが表示されます。

3 [内線番号]に不在モードを設定する内線番号を入力し、[選択]をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 [不在モード]の[ON]/[OFF]をクリックし、不在転送モードを利用するかどうかを設定します。

[ON](転送する)を選択した場合、プルダウンメニューから不在理由を選択します。

- 初期設定は[OFF](転送しない)です。

5 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

6 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

選択した内線が不在転送モードになります。

■不在転送の転送理由を変更する（不在理由設定）

不在転送機能には、あらかじめ９つの不在理由が用意されています（初期設定）。設定されている不在理由の内容を変更することができます。

1 **[電話機の各種転送] − [不在転送] 画面を表示して（➡ P.68）、[不在理由設定] タブをクリックします。**

[不在理由設定] タブの設定内容に切り替わります。

2 **[内線番号] に不在理由を変更する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。**

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 **不在理由の内容を直接修正します。**

4 **[設定] をクリックします。**

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

5 **表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。**

選択した内線の不在理由の選択肢が修正した内容に変わります。

■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

不在転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

1 **［電話機の各種転送］－［不在転送］画面を表示して（➡ P.68）、［内線着信］タブをクリックします。**

［内線着信］タブの設定内容に切り替わります。

2 **［内線番号］に転送動作を設定する内線番号を入力し、［選択］をクリックします。**

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 **［転送種別］で目的の転送先をクリックし、必要に応じて［付加情報］の項目を設定します。**

項目		内容
内線転送		内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。

項目		内容
外線転送		内線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ -：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
	発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 **外線**：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 **特番展開**：特定の回線を選んで転送します（※ 1）。 **PBX**：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 **方路指定**：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 MEMO ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 （※ 1）専用線閉番号と転送リモコン特番を設定できます。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。
DGL グループ転送		内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送		内線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。
転送無し［切断］		内線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。
転送せずに着信を継続		内線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。
	鳴動無し / 鳴動有り	継続時に着信音を鳴らすかどうかを選択します。着信音を鳴らす場合は［鳴動有り］を、鳴らさない場合は［鳴動無し］を選択します。

4 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、［一括設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

内線から着信があった場合の不在転送動作が設定されます。

- ［一括設定］をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）

不在転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

1 **［電話機の各種転送］－［不在転送］画面を表示して（➡ P.68）、［外線着信］タブをクリックします。**

［外線着信］タブの設定内容に切り替わります。

2 **［内線番号］に転送動作を設定する内線番号を入力し、［選択］をクリックします。**

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 **［転送種別］で目的の転送先をクリックし、必要に応じて［付加情報］の項目を設定します。**

項目		内容
内線転送		外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。
外線転送		外線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ -：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
	発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 **外線**：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 **特番展開**：特定の回線を選んで転送します（※ 1）。 **PBX**：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 **方路指定**：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 MEMO ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 （※ 1）専用線閉番号と転送リモコン特番を設定できます。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。
DGL グループ転送		外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送		外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送		外線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。
一般着信		不在の場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。

項目			内容
ガイダンス応答録音			外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
	応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]([パターン 1]/[パターン 2])または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(➡ P.64)。
		録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り]を選択した場合、メールボックス番号を入力し、プルダウンメニューから[録音通知有り]または[録音通知無し]を選択します。 工事設定 メールボックス番号が登録されていない場合、録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 MEMO ● メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号に通知されます(➡ P.52)。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。
	終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(➡ P.64)。
転送無し[切断]			外線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

外線から着信があった場合の不在転送動作が設定されます。

- [一括設定]をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

不在転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

1 **［電話機の各種転送］－［不在転送］画面を表示して（➡ P.68）、［専用線着信］タブをクリックします。**

［専用線着信］タブの設定内容に切り替わります。

2 **［内線番号］に転送動作を設定する内線番号を入力し、［選択］をクリックします。**

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 **［転送種別］で目的の転送先をクリックし、必要に応じて［付加情報］を設定します。**

項目		内容
内線転送		専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
外線転送		専用線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（ -：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
	発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 **外線**：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 **特番展開**：特定の回線を選んで転送します（※ 1）。 **PBX**：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 **方路指定**：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 MEMO ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 （※ 1）専用線閉番号と転送リモコン特番を設定できます。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
DGL グループ転送		専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送		専用線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。

項目			内容
ガイダンス応答録音			専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
	応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］（［パターン 1］/［パターン 2］）または［ユーザガイダンス］から選択します。 ［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。
		録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 ［録音有り］を選択した場合、メールボックス番号を入力し、プルダウンメニューから［録音通知有り］または［録音通知無し］を選択します。 工事設定 メールボックス番号が登録されていない場合、録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 MEMO ● メッセージ録音の通知は、［ボイスメール］の通知先に指定した電話番号に通知されます（➡ P.52）。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。
	終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］または［ユーザガイダンス］から選択します。 ［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。
転送無し［切断］			専用線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。
転送せずに着信を継続			専用線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。
		鳴動無し / 鳴動有り	継続時に着信音を鳴らすかどうかを選択します。着信音を鳴らす場合は［鳴動有り］を、鳴らさない場合は［鳴動無し］を選択します。

4 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、［一括設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

専用線から着信があった場合の不在転送動作が設定されます。

- ［一括設定］をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■発信者ごとに転送動作を設定する（発信者別）

電話帳に登録されている相手を発番号として登録することで、転送先などを設定できます。

1 **[電話機の各種転送] ー [不在転送] 画面を表示して（➡ P.68）、[発信者別] タブをクリックします。**

[発信者別] タブの設定内容に切り替わります。

2 **[内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。**

● 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 **[発番号] で転送動作を設定する発番号をクリックします。**

[発番号 X（内線 YYYY）]（X は選択した発番号、Y は内線番号）の設定項目が表示されます。

4 ［発番号設定］で以下の項目を設定します。

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
電話帳種別	発番号に登録する電話番号が登録されている電話帳を選択します。
電話帳メモリ番号＊	電話帳のメモリ番号を入力します。

5 目的の転送先をクリックし、必要に応じて［付加情報］の項目を設定します。

発番号別の転送先設定は、外線着信と同じです。

参照》「■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）」（➡ P.73）の手順３

6 ［設定］をクリックします。

- 発番号の登録を取り消す場合は、［削除］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

7 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

発番号に登録した電話番号から電話があった場合の不在転送動作が設定されます。

話中転送の動作を設定する（話中転送）

話中転送とは、話中にかかってきた電話を指定した転送先に転送する機能です。話中転送モード中の着信種別ごとの動作を設定できます。
ここでは、以下の 3 つの操作について説明します。

■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（➡ P.81）
■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（➡ P.83）
■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（➡ P.85）

■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

話中転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［電話機の各種転送］－［話中転送］をクリックします。

［電話機の各種転送］－［話中転送］の［内線着信］タブが表示されます。

3　[内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

● 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4　[転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

項目		内容
内線転送		内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
DGL グループ転送		内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送するときに選択します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送		内線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。
転送無し [コールウェイティング]		内線からの着信を転送せずに、話中の通話が終了したタイミングで着信音を鳴らします。
転送無し [切断]		内線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

5　[設定] をクリックします。

● 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
● [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
● ここでの設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

6　表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

内線から着信があった場合の話中転送動作が設定されます。
● [一括設定] をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

第2章 機能設定

■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）

話中転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

1 **[電話機の各種転送] – [話中転送] 画面を表示して（➡ P.81）、[外線着信] タブをクリックします。**

[外線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 **[内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。**

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 **[転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] を設定します。**

項目		内容
内線転送		外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
DGL グループ転送		外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。

項目			内容
MSA グループ転送			外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
		グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送			外線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。
一般着信			話中の場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。
ガイダンス応答録音			外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
	応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］（［パターン 1］/［パターン 2］）または［ユーザガイダンス］から選択します。 ［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。
		録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 ［録音有り］を選択した場合、メールボックス番号を入力します。 工事設定 メールボックス番号が登録されていない場合、録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 MEMO メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。
	終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］または［ユーザガイダンス］から選択します。 ［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。
転送無し［切断］			外線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、［一括設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

外線から着信があった場合の話中転送動作が設定されます。

- ［一括設定］をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

話中転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

1 **［電話機の各種転送］－［話中転送］画面を表示して（➡ P.81）、［専用線着信］タブをクリックします。**

［専用線着信］タブの設定内容に切り替わります。

2 **［内線番号］に転送動作を設定する内線番号を入力し、［選択］をクリックします。**

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 **［転送種別］で目的の転送先をクリックし、必要に応じて［付加情報］の項目を設定します。**

項目		内容
内線転送		専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
DGL グループ転送		専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送		専用線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。

第2章 機能設定

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td colspan="3">ガイダンス応答録音</td><td>専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="2">応答ガイダンス</td><td>固定ガイダンス / ユーザガイダンス</td><td>ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］（［パターン 1］/［パターン 2］）または［ユーザガイダンス］から選択します。
［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。

MEMO
ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。</td></tr>
<tr><td>録音無し / 録音有り</td><td>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。
［録音有り］を選択した場合、メールボックス番号を入力します。

工事設定
メールボックス番号が登録されていない場合、録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。

MEMO
メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。</td></tr>
<tr><td>終了ガイダンス</td><td>固定ガイダンス / ユーザガイダンス</td><td>ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］または［ユーザガイダンス］から選択します。
［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。

MEMO
ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。</td></tr>
<tr><td colspan="3">転送無し［切断］</td><td>専用線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。</td></tr>
</table>

4 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、［一括設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

専用線から着信があった場合の話中転送動作が設定されます。

- ［一括設定］をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

無応答転送の動作を設定する（無応答転送）

無応答転送とは、かかってきた電話に一定時間応答しないときに、指定した転送先に電話を転送する機能です。無応答転送モード中の着信種別ごとの動作を設定できます。また、無応答転送するまでの時間を指定することもできます。

ここでは、以下の 4 つの操作について説明します。

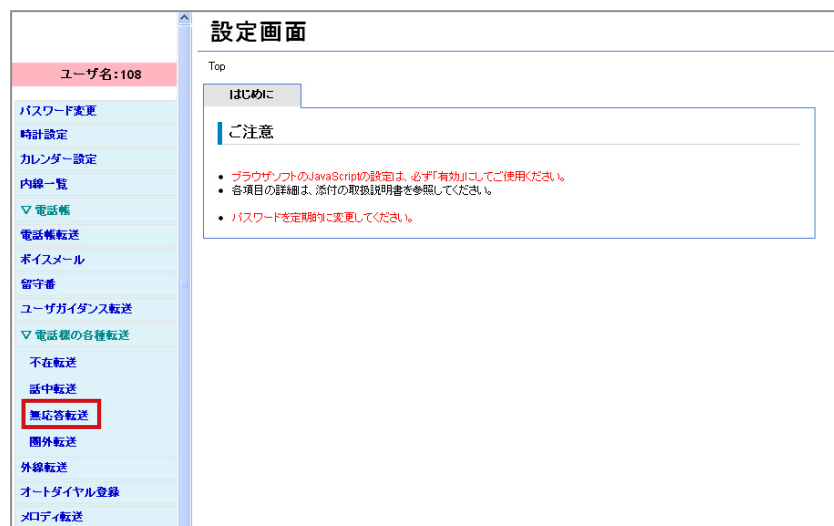
■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（➡ P.87）
■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（➡ P.89）
■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（➡ P.92）
■無応答転送するまでの時間を設定する（関連設定）（➡ P.95）

■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

無応答転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［電話機の各種転送］－［無応答転送］をクリックします。

［電話機の各種転送］－［無応答転送］の［内線着信］タブが表示されます。

第 2 章　機能設定

3 ［内線番号］に転送動作を設定する内線番号を入力し、［選択］をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 ［転送種別］で目的の転送先をクリックし、必要に応じて［付加情報］の項目を設定します。

項目		内容
内線転送		内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。
外線転送		内線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ - ：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
	発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 **外線**：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 **特番展開**：特定の回線を選んで転送します（※ 1）。 **PBX**：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 **方路指定**：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 MEMO ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 （※ 1）専用線閉番号と転送リモコン特番を設定できます。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。
DGL グループ転送		内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。

項目	内容
内線代表転送	内線からの着信を内線代表電話機(内線グループで親内線に登録された内線)に転送します。
転送せずに着信を継続	内線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。

5 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

6 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

内線から着信があった場合の無応答転送動作が設定されます。

- [一括設定]をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

第2章 機能設定

■外線着信時の転送動作を設定する(外線着信)

無応答転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送]－[無応答転送]画面を表示して(➡ P.87)、[外線着信]タブをクリックします。

[外線着信]タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号]に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択]をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別]で目的の転送先をクリックし、必要に応じて[付加情報]の項目を設定します。

内線着信　外線着信　専用線着信　関連設定

外線着信時転送設定

外線からの個別着信時に一定時間応答しなかった場合、設定した無応答転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 選択 （半角数字1～4桁）

転送種別	付加情報		
内線転送	内線番号	（半角数字1～4桁）※1	
	ツインコール	無し　有り	
外線転送	相手先番号	（半角32桁以内）※1	
	発信種別	外線	
	方路番号	（方路指定選択時のみ有効、0～63）	
	ツインコール	無し　有り	
DGLグループ転送	グループ番号	（0～99）※1	
MSAグループ転送	グループ番号	（0～99）※1	
内線代表転送			
一般着信			
ガイダンス応答録音	応答ガイダンス	固定ガイダンス	パターン
		ユーザガイダンス	（0～99）※2
		録音無し	
		録音有り	
		メールボックス番号	（半角数字1～8桁）※3
		／録音通知無	
	終了ガイダンス	固定ガイダンス	
		ユーザガイダンス	（0～99）※2
転送せずに着信を継続			

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です
※2 ユーザガイダンスが選択された時のみ必須設定項目です
※3 録音有りが選択された時のみ必須設定項目です

設 定　初期化　一括設定

項目		内容
内線転送		外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。
外線転送		外線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ -：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
	発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 **外線**：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 **特番展開**：特定の回線を選んで転送します（※ 1）。 **PBX**：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 **方路指定**：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 MEMO ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 （※ 1）専用線閉番号と転送リモコン特番を設定できます。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。
DGL グループ転送		外線からの着信を指定したDGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。

項目			内容
MSA グループ転送			外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
		グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送			外線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。
一般着信			一定時間応答がない場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。
ガイダンス応答録音			外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
	応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］（［パターン 1］/［パターン 2］）または［ユーザガイダンス］から選択します。 ［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。
		録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 ［録音有り］を選択した場合、メールボックス番号を入力し、プルダウンメニューから［録音通知有り］または［録音通知無し］を選択します。 工事設定 メールボックス番号が登録されていない場合、録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 MEMO ● メッセージ録音の通知は、［ボイスメール］の通知先に指定した電話番号に通知されます（➡ P.52）。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。
	終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］または［ユーザガイダンス］から選択します。 ［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。
転送せずに着信を継続			外線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。

4 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、［一括設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

外線から着信があった場合の無応答転送動作が設定されます。

- ［一括設定］をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

無応答転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

1 ［電話機の各種転送］－［無応答転送］画面を表示して（➡ P.87）、［専用線着信］タブをクリックします。

［専用線着信］タブの設定内容に切り替わります。

2 ［内線番号］に転送動作を設定する内線番号を入力し、［選択］をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 ［転送種別］で目的の転送先をクリックし、必要に応じて［付加情報］の項目を設定します。

項目		内容
内線転送		専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。

第2章 機能設定

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">外線転送</td><td>専用線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。</td></tr>
<tr><td></td><td>相手先番号</td><td>転送先の電話番号を入力します。
● 最大 32 桁まで登録できます。
● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ -：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。</td></tr>
<tr><td></td><td>発信種別</td><td>プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。
外線：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。
特番展開：特定の回線を選んで転送します（※ 1）。
PBX：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。
方路指定：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。

MEMO
● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。
● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。

（※ 1）専用線閉番号と転送リモコン特番を設定できます。</td></tr>
<tr><td></td><td>ツインコール</td><td>内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。
停止する場合は［無し］を、継続する場合は［有り］を選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">DGL グループ転送</td><td>専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。</td></tr>
<tr><td></td><td>グループ番号</td><td>転送先の DGL グループ番号を入力します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">内線代表転送</td><td>専用線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。</td></tr>
</table>

項目			内容
ガイダンス応答録音			専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
	応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]（[パターン 1] / [パターン 2]）または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます（➡ P.64）。
		録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り]を選択した場合、メールボックス番号を入力し、プルダウンメニューから[録音通知有り]または[録音通知無し]を選択します。 工事設定 メールボックス番号が登録されていない場合、録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 MEMO ● メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号に通知されます（➡ P.52）。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。
	終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます（➡ P.64）。
転送せずに着信を継続			専用線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。

4 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

専用線から着信があった場合の無応答転送動作が設定されます。

- [一括設定]をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■無応答転送するまでの時間を設定する（関連設定）

無応答転送を始めるまでの時間を設定します。

1 [電話機の各種転送] － [無応答転送] 画面を表示して（➡ P.87）、[関連設定] タブをクリックします。

[関連設定] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [無応答タイマ指定] に無応答転送を始めるまでの秒数を入力します。

- 10 ～ 180 秒の間で指定できます。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

無応答転送が始まるまでの時間が設定されます。

圏外転送の動作を設定する（圏外転送）

圏外転送とは、電話がかかってきたときにデジタルコードレス電話機（UM）や SIP 電話機が圏外で応答できない場合に、指定した転送先に電話を転送する機能です。圏外転送モード中の着信種別ごとの動作を設定できます。
ここでは、以下の 3 つの操作について説明します。

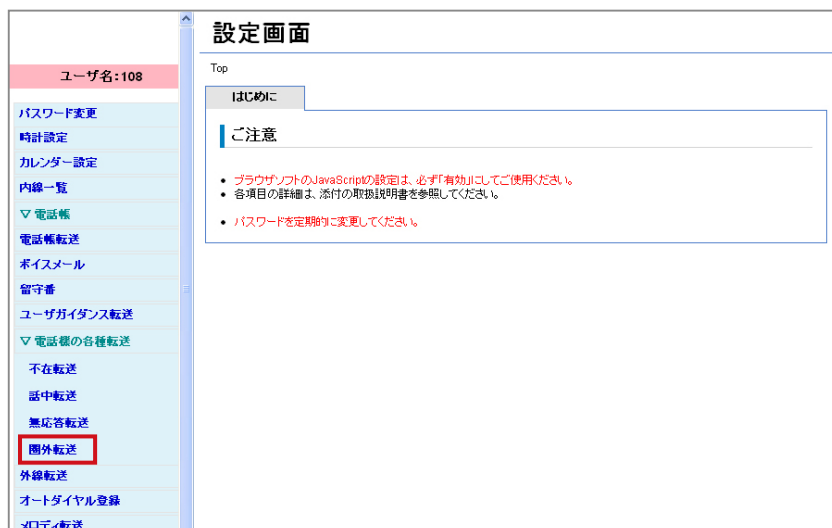
■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（➡ P.96）
■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（➡ P.98）
■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（➡ P.101）

■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

圏外転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［電話機の各種転送］－［圏外転送］をクリックします。

［電話機の各種転送］－［圏外転送］の［内線着信］タブが表示されます。

3 ［内線番号］に転送動作を設定する内線番号を入力し、［選択］をクリックします。

一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 ［転送種別］で目的の転送先をクリックし、必要に応じて［付加情報］の項目を設定します。

項目		内容
内線転送		内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
外線転送		内線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ - : オートポーズ、P : PB 切替）が入力できます。
	発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 **外線**：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 **特番展開**：特定の回線を選んで転送します（※ 1）。 **PBX**：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 **方路指定**：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 MEMO ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 （※ 1）専用線閉番号を設定できます。
DGL グループ転送		内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送		内線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。
転送無し［切断］		内線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

5 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、［一括設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

6 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

内線から着信があった場合の圏外転送動作が設定されます。

- ［一括設定］をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）

圏外転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

1 ［電話機の各種転送］－［圏外転送］画面を表示して（➡ P.96）、［外線着信］タブをクリックします。

［外線着信］タブの設定内容に切り替わります。

2 ［内線番号］に転送動作を設定する内線番号を入力し、［選択］をクリックします。

一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 ［転送種別］で目的の転送先をクリックし、必要に応じて［付加情報］の項目を設定します。

項目		内容
内線転送		外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。
外線転送		外線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ -：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
	発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 **外線**：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 **特番展開**：特定の回線を選んで転送します（※ 1）。 **PBX**：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 **方路指定**：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 **MEMO** ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 （※ 1）専用線閉番号を設定できます。
DGL グループ転送		外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送		外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
	グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送		外線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。
一般着信		圏外の場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。

項目			内容
ガイダンス応答録音			外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
	応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]([パターン 1]/[パターン 2])または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(➡ P.64)。
		録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り]を選択した場合、メールボックス番号を入力し、プルダウンメニューから[録音通知有り]または[録音通知無し]を選択します。 工事設定 メールボックス番号が登録されていない場合、録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 MEMO ● メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号に通知されます(➡ P.52)。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。
	終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(➡ P.64)。
転送無し[切断]			外線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで[OK]をクリックします。

外線から着信があった場合の圏外転送動作が設定されます。

- [一括設定]をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

第2章 機能設定

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

圏外転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

1 **[電話機の各種転送] − [圏外転送] 画面を表示して（➡ P.96）、[専用線着信] タブをクリックします。**

[専用線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 **[内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。**

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 **[転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。**

項目		内容
内線転送		専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号	転送先の内線番号を入力します。

項目			内容
外線転送			専用線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
		相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の 0 ～ 9、*、#、特殊コード（ -：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
		発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 **外線**：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 **特番展開**：特定の回線を選んで転送します（※ 1）。 **PBX**：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 **方路指定**：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 **MEMO** ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 （※ 1）専用線閉番号を設定できます。
DGL グループ転送			専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
		グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送			専用線からの着信を内線代表電話機（内線グループで親内線に登録された内線）に転送します。
ガイダンス応答録音			専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
	応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］（［パターン 1］/［パターン 2］）または［ユーザガイダンス］から選択します。 ［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 **MEMO** ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。
		録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 ［録音有り］を選択した場合、メールボックス番号を入力し、プルダウンメニューから［録音通知有り］または［録音通知無し］を選択します。 **工事設定** メールボックス番号が登録されていない場合、録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。 **MEMO** ● メッセージ録音の通知は、［ボイスメール］の通知先に指定した電話番号に通知されます（➡ P.52）。 ● メッセージの録音最大時間は 1 ～ 255 分の範囲で指定できます。

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td></td><td>終了ガイダンス</td><td>固定ガイダンス / ユーザガイダンス</td><td>ガイダンスの種類を［固定ガイダンス］または［ユーザガイダンス］から選択します。
［ユーザガイダンス］を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。

MEMO
ユーザガイダンスは、［ユーザガイダンス転送］を使って登録できます（➡ P.64）。</td></tr>
<tr><td colspan="3">転送無し［切断］</td><td>専用線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。</td></tr>
</table>

4 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、［一括設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

専用線から着信があった場合の圏外転送動作が設定されます。

- ［一括設定］をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

外線転送の設定（外線転送）管理

外線自動転送とは、外線から一般着信や DGL/MSA 着信があった場合に自動的に指定した転送先に電話を転送する機能です。外線自動転送モード中の転送先や転送動作などをテナントごとに設定できます。
ここでは、以下の 3 つの操作について説明します。

- 外線自動転送モードを自動的に切り替える（タイマ連動設定）（➡ P.104）
- 転送先情報を登録する（外線転送関連設定）（➡ P.107）
- 外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録する（転送先設定）（➡ P.108）

外線自動転送モードを自動的に切り替える（タイマ連動設定）

タイマ連動設定を行うと、曜日と時間帯ごとに外線自動転送モードを自動的に切り替えることができます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［外線転送］をクリックします。

設定画面

ユーザ名:108

Top

はじめに

ご注意

- ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。
- 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。
- パスワードを定期的に変更してください。

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽ 電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイダンス転送
▽ 電話機の各種転送
外線転送
オートダイヤル登録
メロディ転送
ですくdeRSS
タイマ連動
Webカメラ
アドレス登録

［外線転送］の［タイマ連動設定］タブの設定内容が表示されます。

3 自動切替を設定する曜日をクリックします。

4 [動作選択] で、選択した曜日の 00：00 時に切り替わる動作モードを選択し、[時間帯 1] の設定を行います。

項目		内容
動作選択	スケジュールに従う	登録したスケジュールどおりに動作させます。
	前日モードを継続	前日と同じモードに設定します。
時間帯 1	開始時間	[時間帯 1] は 00：00 に固定されています。
	外線転送モード	外線転送モードをプルダウンメニューから選択します。 **転送無し**：外線自動転送を OFF に設定します。 **外線転送 1 ～外線転送 4**：[転送先設定] タブで設定した転送モード1～転送モード4にそれぞれ対応しています(➡P.108)。

5 [時間帯 2] ～ [時間帯 10] の項目を設定します。

必要な時間帯のみ設定します。
不要な時間帯を削除するには [削除] をクリックします。

時間帯2 削除
開始時間 : (00:01～23:59) ※1
外線転送モード 転送無し
時間帯3 削除
開始時間 : (00:01～23:59) ※1
外線転送モード 転送無し
時間帯4 削除
開始時間 : (00:01～23:59) ※1
外線転送モード 転送無し
時間帯8 削除
開始時間 : (00:01～23:59) ※1
外線転送モード 転送無し
時間帯9 削除
開始時間 : (00:01～23:59) ※1
外線転送モード 転送無し
時間帯10 削除
開始時間 : (00:01～23:59) ※1
外線転送モード 転送無し
コピー先 日 月 火 水 木 金 土 休日／祝祭日
※1 未入力の場合は開始時間無しとなります
設 定 初期化
▲上へ

項目	内容
開始時間	00:01 ～ 23:59 の範囲で時間帯を入力します。
外線転送モード	外線転送モードをプルダウンメニューから選択します。 **転送無し**：外線自動転送を OFF に設定します。 **外線転送 1 ～外線転送 4**：[転送先設定] タブで設定した転送モード 1 ～転送モード 4 にそれぞれ対応しています（➡ P.108）。
コピー先	設定した内容を違う曜日にコピーする場合、[コピー先] で目的の曜日にチェックを入れます。

6 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

7 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

選択した曜日と時間帯の外線転送モードが登録され、タイムテーブルに表示されます。

転送先情報を登録する（外線転送関連設定）

外線自動転送モード中に外線からの一般着信、DGL/MSA 着信があったときの転送先と転送開始時間を登録します。最大 8 件まで登録できます。

1 ［外線転送］画面を表示して（➡ P.104）、［関連設定］タブをクリックします。

［関連設定］タブの設定内容に切り替わります。

2 転送先情報を設定します。

タイマ連動設定 | 関連設定 | 転送先設定

外線転送関連設定

外線からの一般着信、DGL/MSA着信時、外線自動転送モード中の状態であった場合、自動的に転送する転送先の設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

相手先情報	相手先1	相手先番号	090-1111-2222	（半角32桁以内）※1
		発信種別	外線	
		方路番号		（方路指定選択時のみ有効、0～63）
	相手先2	相手先番号		（半角32桁以内）※1
		発信種別	外線	
		方路番号		（方路指定選択時のみ有効、0～63）
	相手先3	相手先番号		（半角32桁以内）※1
		発信種別	外線	
		方路番号		（方路指定選択時のみ有効、0～63）
	相手先4	相手先番号		（半角32桁以内）※1
		発信種別	外線	
		方路番号		（方路指定選択時のみ有効、0～63）
	相手先5	相手先番号		（半角32桁以内）※1
		発信種別	外線	
		方路番号		（方路指定選択時のみ有効、0～63）
	相手先6	相手先番号		（半角32桁以内）※1
		発信種別	外線	
		方路番号		（方路指定選択時のみ有効、0～63）
	相手先7	相手先番号		（半角32桁以内）※1
		発信種別	外線	
		方路番号		（方路指定選択時のみ有効、0～63）
	相手先8	相手先番号		（半角32桁以内）※1
		発信種別	外線	
		方路番号		（方路指定選択時のみ有効、0～63）
外線転送起動時間(*)			9	秒（0～180）

※1 未入力の場合は相手先番号無しとなります

設 定　初期化

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目		内容
相手先情報	相手先１～相手先８	転送先の電話番号を入力し、プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 **外線**：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 **特番展開**：特定の回線を選んで転送します。 **PBX**：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 **方路指定**：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 ● 最大 32 桁まで登録できます。 ● 半角の０～９、*、#、特殊コード（ -：オートポーズ、Ｐ：PB 切替）が入力できます。
外線転送起動時間 *		外線自動転送を開始するまでの秒数を入力します。 ● ０～ 180 秒の範囲で指定できます。

4 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

外線自動転送の転送先と起動時間が設定されます。

外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録する（転送先設定）

外線自動転送モード中に外線からの一般着信、DGL/MSA 着信があったときの、外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録します。４種類の転送モード（［モード 1］～［モード 4］）を登録できます。

1 ［外線転送］画面を表示して（➡ P.104）、［転送先設定］タブをクリックします。

［転送先設定］タブの設定内容に切り替わります。

2 ［外線転送］のプルダウンメニューから登録先の転送モードを選択し、［選択］をクリックします。

3 以下の項目を設定し、外線転送回線グループ（グループ A ～グループ D）ごとの動作を指定します。

項目	内容
転送種別	プルダウンメニューから転送種別を選択します。 転送無し：転送を行いません。 通常：［相手先指定］の［1:］で選択した相手先に転送します。 順次：［相手先指定］の［1:］で選択した相手先に転送を試み、相手先が話中または無応答転送モードの場合、［2:］で選択した相手先に転送します。 同時：［相手先指定］の［1:］と［2:］で選択した相手先に同時に転送します。
相手先指定	［1:］のプルダウンメニューから転送先電話番号を選択します。 ● プルダウンメニューには、［外線転送関連］タブで登録した相手先電話番号が表示されます。 ● ［転送種別］で［順次］または［同時］を選択した場合のみ、［2:］の相手先を選択します。

4 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

外線自動転送の転送モードが設定されます。

オートダイヤルの割り付け（オートダイヤル登録）

多機能電話機のオートダイヤルボタンまたは集中受付装置（DSS）に外線、ワンタッチダイヤルなどの機能を割り付けることができます。すでに割り付けられている機能を変更することもできます。

オートダイヤルボタンに機能を割り付ける

オートダイヤルボタンに外線、ワンタッチダイヤルなどの機能を割り付けることができます。また、すでに割り付けられている機能を変更することもできます。

1 **Web 設定を起動します。**

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 **左メニューで［オートダイヤル登録］をクリックします。**

［オートダイヤル登録］の設定内容が表示されます。

3 ［内線番号］にオートダイヤルに機能を割り付ける内線番号を入力し、［選択］をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 オートダイヤルボタンをクリックします。

- すでに機能が割り付けられているオートダイヤルボタンをクリックすると、機能を割り付けなおすことができます。

選択したオートダイヤルボタンの設定画面に切り替わります。

5 ［機能］の一覧から目的の機能を選択します。

- 機能一覧には、オートダイヤルに割り付けられる機能がすべて表示されています。

- 付加情報の入力が必要な場合は、手順６～７を操作してください。
- 付加情報の入力が不要な場合は、手順９へ進んでください。

6 （付加情報の入力が必要な場合）［詳細設定］をクリックします。

選択した機能の詳細設定画面に切り替わります。

第2章 機能設定

7 詳細設定画面で、プルダウンメニューから付加情報を選択し、［確定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

8 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

オートダイヤルボタンの設定画面に戻ります。

9 ［設定］をクリックします。

● 設定を取り消す場合は、［削除］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

10 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

オートダイヤルに機能が割り付けられます。

メロディの管理（メロディ転送）管理

PC（パソコン）に保存されている音声ファイルを電話機の着信音などに利用できるメロディとして取り込むことができます。また、既存のメロディの名前を変更したり、PC の任意のフォルダに保存してバックアップすることもできます。
ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

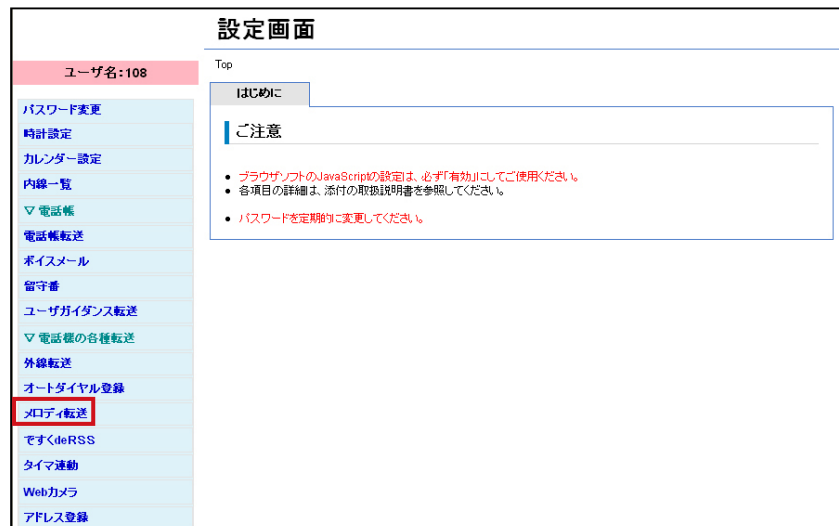
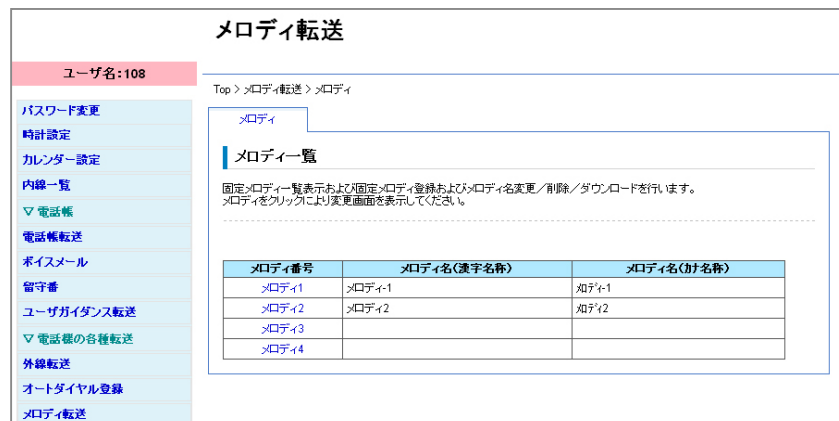
- 既存のメロディを変更 / 削除 / 転送する（➡ P.113）
- PC 上の音声ファイルを取り込む（➡ P.115）

既存のメロディを変更 / 削除 / 転送する

すでに登録されているメロディの名称を変更したり、ファイルを削除したり、ファイルを PC 上の任意のフォルダに転送し、バックアップすることができます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［メロディ転送］をクリックします。

［メロディ転送］に切り替わりメロディ一覧が表示されます。

3 編集、削除または転送するメロディ番号をクリックします。

メロディ

メロディ一覧

固定メロディ一覧表示および固定メロディ登録およびメロディ名変更／削除／ダウンロードを行います。
メロディをクリックにより変更画面を表示してください。

メロディ番号	メロディ名(漢字名称)	メロディ名(カナ名称)
メロディ1	メロディ-1	ﾒﾛﾃﾞｨ-1
メロディ2	メロディ2	ﾒﾛﾃﾞｨ2
メロディ3		
メロディ4		

メロディ編集の設定内容が表示されます。

メロディ

メロディ1

メロディ名(漢字名称)	メロディ-1	(全角10文字／半角20文字以内) ※1
メロディ名(カナ名称)	ﾒﾛﾃﾞｨ-1	(半角20文字以内) ※1

※1 設定には漢字名称またはカナ名称の登録が必要です

メロディ名変更　削 除　ダウンロード

4 ■メロディ名称を変更する場合

[メロディ名(漢字名称)]と[メロディ名(カナ名称)]の内容を修正し、[メロディ名変更]をクリックします。

- [メロディ名(漢字名称)]には、全角 10 文字または半角 20 文字まで入力できます。
- [メロディ名(カナ名称)]には、半角 20 文字まで入力できます。

■メロディを削除する場合

[削除]をクリックします。

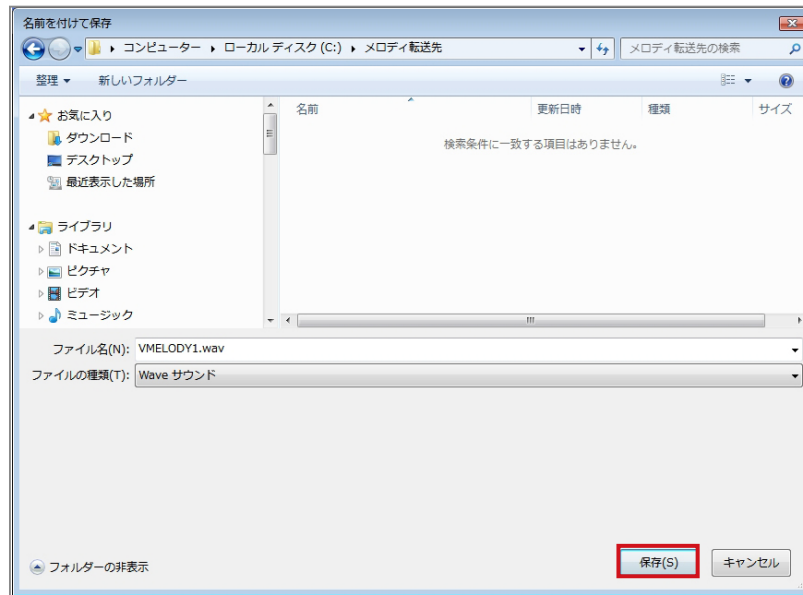
■メロディの音声ファイルを転送する場合

①[ダウンロード]をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

②表示されたメッセージダイアログで[保存]をクリックします。

Windows の[名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

③転送先フォルダとファイル名を指定して［保存］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

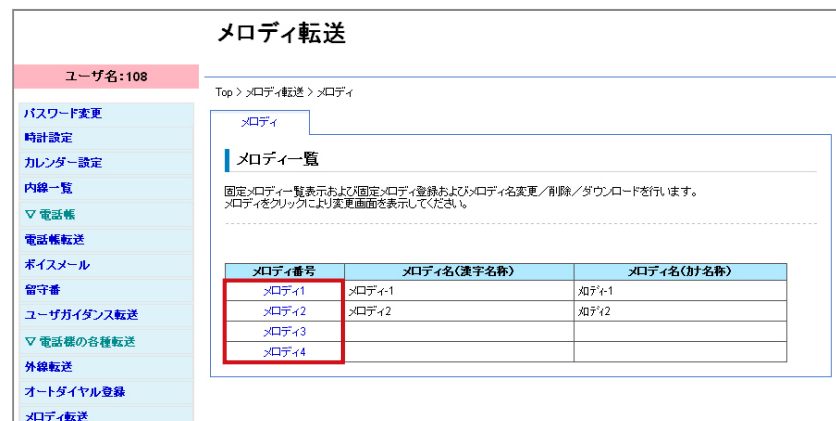
5 表示されたメッセージダイアログで［OK］または［閉じる］をクリックします。

選択したメロディが変更、削除または転送されます。

PC 上の音声ファイルを取り込む

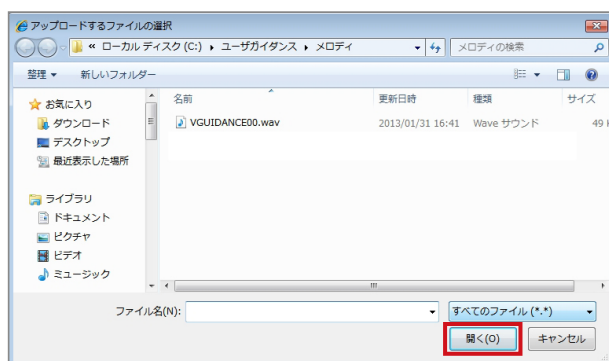
PC（パソコン）上の任意の音声ファイルを電話機の固定メロディとして取り込みます。
取り込むことが可能な音声ファイルの形式とサイズの条件は以下のとおりです。

圧伸アルゴリズム / 圧伸ビットレート	G711 μ -Law（64kbps）
ファイル形式	WAV
1 ファイルサイズ	最大 1Mbyte （2 分）

1 ［メロディ転送］画面で（➡ P.113）、メロディ番号をクリックします。

2 メロディ名称などを設定し、[参照] をクリックします。

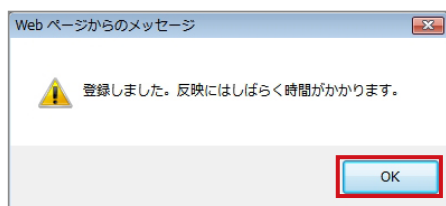
項目	内容
メロディ名(漢字名称)	メロディの漢字名称を入力します。[メロディ名(漢字名称)]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号) で最大 10 文字まで、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。 ● メロディの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。
メロディ名(ｶﾅ名称)	メロディのカナ名称を入力します。[メロディ名(ｶﾅ名称)]には、半角文字(カナ、英字、数字)で最大 20 文字まで入力できます。 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、メロディ一覧や電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

Windows の[アップロードするファイルの選択] ダイアログが表示されます。

3 表示されたダイアログで取り込む音声ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

選択した音声ファイル名が[ファイル指定] に表示されます。

4 [登録] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

選択した音声ファイルがメロディとして登録されます。

ですく deRSS の設定 管理 一般

「ですく deRSS」を利用すると、インターネットの RSS サイトから新聞の見出しなどのコンテンツ情報を受信して、電話機のディスプレイにスクロール表示させることができます。
ここでは、「ですく deRSS」を利用するかどうかを設定する方法について説明します。「ですく deRSS」を利用する場合は、コンテンツの表示方法や利用日、更新間隔などを使い勝手に合わせて設定できます。

ですく deRSS の利用設定をする

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(➡ P.3)

2 左メニューで [ですく deRSS] をクリックします。

[ですく deRSS] の利用設定項目が表示されます。

3 以下の設定を行います。

項目	内容
ですく deRSS 利用	ですく deRSS 機能を利用するかどうかを設定します。 ● 機能を有効にする場合は［利用する］を、利用を中止する場合は［利用しない］をクリックします。［利用する］を選択した場合のみ、以降の設定項目が有効になります。 ● 初期設定は［利用しない］です。
提供元	RSS の提供元名称を入力します。 ● ここで入力した内容が、電話機のディスプレイに RSS が表示されるときのヘッダー情報になります。 ● 全角 18 文字 / 半角 36 文字まで入力できます。
RSS サイト（URL）	RSS 提供元サイトの URL を入力します。 ● 半角 128 文字まで入力できます。
実行曜日	機能を利用する曜日をチェックします。 ● 初期設定では、すべての曜日がチェックされています。
動作時間	コンテンツ表示の開始時刻と終了時刻を入力します。 ● 初期設定では、00:00 ～ 00:00（24 時間）に設定されています。 ● 開始時刻と終了時刻は、24 時間表示（00：00 ～ 23：59）で設定してください。
インターバル	コンテンツの更新方法と更新間隔を設定します。 ● 自動更新しない場合は、［自動更新しない（システム起動時 1 回のみ取得）］をクリックします。 ● 自動更新する場合は、［自動更新する］をクリックし、［時間］に更新間隔を入力します。 ● 初期設定では、30 分ごとに自動更新する設定になっています。 ● 更新間隔は、5 ～ 1440 分の範囲で設定できます。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

設定した内容が保存されます。

セーフティモード / チャイムのタイマ設定（タイマ連動）管理 一般

セーフティモードへ切り替える時刻とスピーカからチャイム音を鳴らす時刻を曜日ごとに設定できます。
ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

- セーフティモードへの切り替え時刻を設定する（セーフティ）（➡ P.119）
- チャイム音を鳴らす時刻を設定する（チャイム）（➡ P.121）

セーフティモードへの切り替え時刻を設定する（セーフティ）

セーフティグループ（セーフティ A/ セーフティ B）ごとに、セーフティモードに切り替わる時刻を曜日ごとに設定します。
以降、ここで設定した曜日と時刻になると、自動的にセーフティモードに切り替わります。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで［タイマ連動］をクリックします。

［タイマ連動］の［セーフティ］タブの設定項目が表示されます。

3 ［セーフティ A］または［セーフティ B］で、切替時刻を設定する曜日をクリックします。

4 ［開始時間］に、セーフティモードに切り替える時刻を入力します。

00:00 ～ 23:59 の範囲で指定できます。
時刻を入力しないと、選択した曜日は、終日セーフティモードに切り替わりません。

5 ここでの設定を他の曜日にコピーする場合、［コピー先］でコピー先の曜日にチェックを入れます。

MEMO

［休日 / 祝祭日］にチェックを入れると、［カレンダー設定］の［特定日設定］で休日に設定した曜日と、［祝祭日設定］で祝祭日に設定された日付が対象になります。（➡ P.14）。

6 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

7 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

選択した曜日のセーフティモード切り替え時刻が登録され、以降、対象の曜日でこの時刻になると、セーフティモードに自動的に切り替わります。

チャイム音を鳴らす時刻を設定する（チャイム）

電話機のスピーカおよび外部スピーカからチャイム音を鳴らす時間帯を曜日ごとに設定します。
最大 20 回分の時間帯（[時間帯 1]～[時間帯 20]）を指定できます。

工事設定

この機能を使用する場合は、販売店にご相談ください。

1 左メニューで[タイマ連動]（➡P.119）をクリックしたあと、[チャイム]タブをクリックします。

[チャイム]タブに切り替わり、チャイムタイマ連動の設定内容が表示されます。

2 設定する曜日をクリックします。

セーフティ　チャイム

チャイムタイマ連動

電話機のスピーカおよび外部スピーカからチャイム音を鳴動する時刻設定を行います。
各曜日をクリックし設定画面を表示してください。

	日	月	火	水	木	金	土	休日／祝祭日
00:00								
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								

時間帯の設定項目に切り替わります。

3 ［鳴動時間 1］の［鳴動時間］に開始時刻を入力します。

- 00:00 ～ 23:59 の範囲で指定できます。

セーフティ　チャイム

チャイムタイマ連動設定(日曜日)

鳴動時間1 削除
鳴動時間 ： （00:00～23:59）※1
鳴動時間2 削除
鳴動時間 ： （00:00～23:59）※1
鳴動時間3 削除
鳴動時間 ： （00:00～23:59）※1
鳴動時間4 削除
鳴動時間 ： （00:00～23:59）※1
鳴動時間5 削除
鳴動時間 ： （00:00～23:59）※1
鳴動時間18 削除
鳴動時間 ： （00:00～23:59）※1
鳴動時間19 削除
鳴動時間 ： （00:00～23:59）※1
鳴動時間20 削除
鳴動時間 ： （00:00～23:59）※1

コピー先 日 月 火 水 木 金 土 休日／祝祭日

※1 未入力の場合は鳴動時間無しとなります

設 定　初期化

▲上へ

4 手順 3 に従って、［鳴動時間 2］～［鳴動時間 20］の項目を設定します。

- 必要な鳴動時間のみ設定します。
- 不要な鳴動時間を削除するには［削除］をクリックします。
- どの鳴動時間にも時刻を入力しないと、その曜日は終日チャイムが鳴りません。

5 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

6 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

選択した曜日のチャイム音の鳴動時刻が登録され、以降、対象の曜日でこの時刻になると、チャイムが鳴ります。

第2章 機能設定

Web カメラの設定（Web カメラ）管理

セーフティモードと連動して動作させる Web カメラを利用するための情報やセキュリティモードとの連動情報を設定できます。連動情報の設定時にカメラの連動テストを行うこともできます。

Web カメラの利用情報を設定する（カメラ情報）

セーフティモードと連動して動作する Web カメラの利用設定を行います。Web カメラの設定は、接続されているカメラごとに行うことができます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで [Web カメラ] をクリックします。

[Web カメラ] の設定項目が表示されます。

Webカメラ

ユーザ名:108

Top > Webカメラ > カメラ情報

カメラ情報

Webカメラ情報

セーフティ機能に連動して動作するWebカメラの設定を行います。
各カメラ番号をクリックし設定画面を表示してください。

カメラ番号	動作設定	アクセス先
カメラ1	無効	0.0.0.0:80
カメラ2	無効	0.0.0.0:80
カメラ3	無効	0.0.0.0:80
カメラ4	無効	0.0.0.0:80
カメラ5	無効	0.0.0.0:80
カメラ6	無効	0.0.0.0:80
カメラ7	無効	0.0.0.0:80
カメラ8	無効	0.0.0.0:80
カメラ9	無効	0.0.0.0:80

パスワード変更
時計設定
カレンダー設定
内線一覧
▽ 電話帳
電話帳転送
ボイスメール
留守番
ユーザガイダンス転送
▽ 電話標の各種転送
外線転送
オートダイヤル登録
メロディ転送
ですくdeRSS
タイマ連動

3 情報を登録するカメラ番号をクリックします。

選択したカメラの設定項目に切り替わります。

4 ［有効］を選択し、以下の項目を設定します。

- ［無効］を選択すると、選択したカメラは利用できません。

カメラ情報

カメラ1

(*)は有効に設定した場合の必須設定項目です。

動作設定		○無効 ◉有効
IPアドレス(*)		0 . 0 . 0 . 0 （各0～255）
ポート番号(*)		80 （1～65535）
アクセス用ディレクトリ		（半角256文字以内）
カメラ種別		Panasonic
BASIC認証	設定	◉無効 ○有効
	ユーザ名	（全角16文字／半角32文字以内）※1
	パスワード	（全角16文字／半角32文字以内）※1

※1 BASIC認証：有効の場合に設定してください

設 定　初期化

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目		内容
IP アドレス *		カメラの IP アドレスを半角で入力します。 ● 000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 の範囲で指定できます。
ポート番号 *		カメラのポート番号を半角で入力します。 ● 1 ～ 65535 の範囲で指定できます。
アクセス用ディレクトリ		セーフティメール送信用のメールサーバアドレスを入力します。 ● 半角 256 文字まで入力できます。
カメラ種別		プルダウンメニューからカメラの製造メーカーを選択します。
BASIC 認証	設定	BASIC 認証が必要な場合、［有効］を選択し、以下の項目を設定します。
	ユーザー名	BASIC 認証用のユーザ名を入力します。
	パスワード	BASIC 認証用のパスワードを入力します。

5 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

選択したカメラの利用情報が設定されます。

カメラ情報

Webカメラ情報

セーフティ機能に連動して動作するWebカメラの設定を行います。
各カメラ番号をクリックし設定画面を表示してください。

カメラ番号	動作設定	アクセス先
カメラ1	有効	192.168.1.50:80
カメラ2	無効	0.0.0.0:80
カメラ3	無効	0.0.0.0:80
カメラ4	無効	0.0.0.0:80
カメラ5	無効	0.0.0.0:80
カメラ6	無効	0.0.0.0:80
カメラ7	無効	0.0.0.0:80
カメラ8	無効	0.0.0.0:80
カメラ9	無効	0.0.0.0:80

メール送信の設定(アドレス登録) 管理

本システムの主装置から「セーフティメール通知」、「外線着信メール通知」および「着信履歴通知」を送信する際の送信先メールアドレスを登録できます。登録したメールアドレスへのテスト送信を行うこともできます。
ここでは、以下の 3 つの操作について説明します。

- セーフティメール通知の送信先を登録する（セーフティ）（➡ P.126）
- 外線着信メール通知の送信先を設定する（外線着信）（➡ P.129）
- 不在着信履歴通知の送信先を登録する（着信履歴関連）（➡ P.131）

セーフティメール通知の送信先を登録する(セーフティ)

セーフティメール通知とは、セーフティモードの起動、モード解除、センサ検知時に登録済みの通知先へメールを送信してお知らせする機能です。ここでは、メールの送信先やお知らせする情報などを設定し、送信テストを行う方法について説明します。最大 5 件のメールアドレスを登録できます。

工事設定

メール送信サーバ情報の設定および E メール機能の利用設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで [アドレス登録] をクリックします。

［アドレス登録］の［セーフティ］タブの設定項目が表示されます。

3 以下の項目を設定します。

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目		内容
メールアドレス＊		セーフティメール通知の送信先メールアドレスを入力します。64 文字までの半角英数字を入力できます。
グローバル IP アドレス通知		チェックを入れると、IP 電話サービス対応パッケージの WAN 側 IP アドレスが変更されたときにメールが送信されます。
セーフティ メール通知動作	検知	チェックを入れると、セーフティモード中に Web カメラのセンサが検知されたときにメールが送信されます。
	セット	チェックを入れると、セーフティモードが起動したときにメールが送信されます。
	解除	チェックを入れると、セーフティモードが解除されたときにメールが送信されます。

4 ［設定］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

5 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

セーフティメール通知の設定が有効になります。

6 テストメールを送信するメールアドレスの［メール送信テスト］にチェックを入れ、［メール送信テスト］をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

7 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

チェックを入れたメールアドレスにテストメールが送信され、確認メッセージが表示されます。

外線着信メール通知の送信先を設定する（外線着信）

外線着信メール通知とは、外線自動転送の転送結果（成功 / 失敗）を指定のメールアドレスにお知らせする機能です。ここでは、テナントごとに外線着信メール通知の送信先アドレスや監視する転送先、着信履歴送信の有無などを設定し、送信テストを行う方法について説明します。最大 20 件のメールアドレスを登録できます。

工事設定

- メール送信 / 受信サーバ情報の設定および E メール機能の利用設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 登録できるメールアドレスの数を変更することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。

1 ［アドレス登録］画面を表示して（➡P.126）、［外線着信］タブをクリックします。

［アドレス登録］の［外線着信］タブの設定項目に切り替わります。

2 以下の項目を設定します。

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目		内容
メールアドレス＊		外線着信メール通知の送信先メールアドレスを入力します。64 文字までの半角英数字を入力できます。
外線転送	転送先 1 〜 転送先 8	外線自動転送の結果を確認する転送先にチェックを入れます。複数の転送先を選択することもできます。 **MEMO** 転送先 1 〜 8 は、[外線転送] の [外線転送関連] で登録します（➡ P.107）。
着信履歴		チェックを入れると、不在着信履歴も送信されます。 ● ［アドレス登録］の［着信履歴関連］タブで、不在着信履歴の送信タイミングや対象の相手先などを設定できます（➡ P.131）。

3 [設定] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

外線着信メール通知の設定が有効になります。

5 テストメールを送信するメールアドレスの [メール送信テスト] にチェックを入れ、[メール送信テスト] をクリックします。

メッセージダイアログが表示されます。

6 表示されたメッセージダイアログで [OK] をクリックします。

チェックを入れたメールアドレスにテストメールが送信され、確認メッセージが表示されます。

不在着信履歴通知の送信先を登録する（着信履歴関連）

外線自動転送モード中に、外線からの着信に無応答だった場合の不在着信履歴を送信するタイミングや履歴を確認する相手先などを設定する方法について説明します。

工事設定

メール送信 / 受信サーバ情報の設定および E メール機能の利用設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

1 ［アドレス登録］画面を表示して（➡P.126）、［着信履歴関連］タブをクリックします。

［アドレス登録］の［着信履歴関連］タブの設定項目に切り替わります。

2 以下の項目を設定します。

（＊）の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メール送信件数 *	不在着信の件数を入力します。ここで入力した件数に達すると、不在着信履歴が［外線着信］タブで設定したメールアドレスに送信されます（➡ P.129）。
メール送信間隔	プルダウンメニューから不在着信履歴のメールを送信する間隔（分）を選択します。 初期設定は、10 分です。
送信不応答履歴種別	不在着信履歴の対象を選択します。 **全て**：すべての不在着信履歴を送信します。 **電話帳登録済みのみ**：電話帳に登録された相手に対する不在着信履歴のみ送信します。

3 ［設定］をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ［初期化］をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

メッセージダイアログが表示されます。

4 表示されたメッセージダイアログで［OK］をクリックします。

外線着信メール通知と合わせて不在着信履歴を送信する場合の送信タイミングが設定されます。

索引

お問い合わせ窓口のご案内

このたびは、当社の商品をお求めいただき、誠にありがとうございます。
商品についてのお問い合わせ、ご相談、アフターサービス（修理）などにつきましては、
お求めになられました販売店または下記の当社窓口にご相談ください。
なお、お客様との電話応対時においては、お問い合わせ・ご相談内容等の正確な把握、
今後のサービス向上のために、通話を録音させていただく場合があります。

《サクサグループ》

■お客様窓口（商品についてのお問い合わせ、ご相談）

サクサ株式会社

●お客様相談室： 携帯OK ナビダイヤル 0570-001-393（ゼロゴーナナゼロ ゼロゼロワン サクサ）
050-5507-8039

http://www.saxa-as.co.jp

上記窓口・電話番号は都合により、変更になる場合がございます。その際は、お買い求め頂いた販売店にご相談いただくか、または、当社ホームページ（http://www.saxa.co.jp）より最新情報を入手してください。

PHS・IP 電話など、ナビダイヤル（0570 で始まる番号）がご利用できない場合は、050-5507-8039 にお問い合わせください。

当社では、今後も環境に配慮した製品の開発を推進し、サクサブランドのエコ商品をグループ一体となって生み出すことにより、地球環境保全に貢献していきたいと考えています。

サクサエコマークは、下記の条件を満たした商品に適用します。

サクサエコ商品認定基準

<環境に配慮した材料の採用>

- 当社の定めた含有禁止物質を製品には使用しません。
- 当社の定めた含有抑制物質については、その使用量を把握管理し抑制に努めます。
- 酸性雨で地中に溶けだし人体に影響がある鉛については、使用量を把握管理し抑制に努めます。
- 焼却時にダイオキシンが発生する恐れのある、ポリ塩化ビニル（PVC）や特定臭素難燃剤(PBDE 及び PBB) の使用を抑制します。
- 廃棄時の環境影響に配慮した当社の基準で推奨するプラスチック材料や金属材料を使用します。

<リサイクルしやすい設計>

- リサイクルを容易にするために、プラスチック部品には材料名を表示します。
- リサイクルを考慮しプラスチック材料はできる限り統一しています。
- プラスチック材料への二次加工を抑制した設計を行います。

<環境に配慮した梱包材>

- 緩衝材に発泡スチロールはできる限り使用しないようにしています。

<省エネルギー>

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。

<事前評価>

- 設計・製造にあたっては、当社の定めた製品アセスメントを実施し、製品が環境に与える影響を評価しています。

リチウムイオン電池の
リサイクルに
ご協力ください

この装置は、クラス A 情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

本製品は、外国為替及び外国貿易法で定める規制対象貨物・技術に該当する製品です。
この製品を輸出する場合または国外に持ち出す場合は、日本国政府の輸出許可が必要です。

This product designed for use in Japan is a strategic product regulated under the Japanese Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission from the Japanese Government.

サクサ株式会社

1027BT	133-1	D

この資料の内容は、平成 25 年 3 月現在のものです。

4438060600